Ⅳ.活力を生み出すまち

基本施策	課名	事業名	頁	備考
1.既存産業の活性化と承継を進めます	商工観光課	産業人材育成事業	257～	
	商工観光課	商工業振興事業	259～	重複
	商工観光課	商工業振興事業振興センター整備事業	263～	
	農林水産課	水産業振興事業	265～	
	農林水産課	離島漁業再生支援事業	267～	
	農林水産課	特産品流通推進事業	269～	
	農林水産課	農業総務事務	271～	
	農林水産課	農業経営対策推進事業	273～	
	農林水産課	農業活性化事業	275～	
	農林水産課	中山間地域等直接支払事業	277～	
	農林水産課	畜産業振興事業	279～	
	農林水産課	公共牧野整備事業	281～	
	農林水産課	林業振興事業	283～	
	農林水産課	多面的機能支払事業	285～	
	農林水産課	国庫土地改良事業	287～	
	農林水産課	町単土地改良事業	289～	
	農林水産課	県営土地改良事業	291～	
	農林水産課	土地改良施設維持管理適正化事業	293～	
	農林水産課	農道橋梁長寿命化対策事業	295～	
	農林水産課	農業水路等長寿命化・防災減災事業	297～	
	農林水産課	町単林道事業	299～	
	農林水産課	県営林道事業	301～	
	農林水産課	林業専用道開設事業	303～	
	農林水産課	林道橋梁長寿命化対策事業	305～	
	農林水産課	林道改良事業	307～	
	農林水産課	漁港・海岸施設長寿命化事業	309～	
	農林水産課	中村地区集落環境整備事業	311～	
	農林水産課	漁港施設機能強化事業	313～	
	農林水産課	港再整備交付金事業	315～	
	布施支所	町有林管理事業	317～	

基本施策	課名	事業名	頁	備考
2.島の特性を活かした新たな産業を育成します	商工観光課	企業誘致事業	319～	
	環境課	再生可能エネルギー事業	321～	（重複）
3.ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります	地域振興課	海上交通維持対策事業	323～	
	商工観光課	航空機利用促進対策事業	325～	
4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます	商工観光課	観光総務事務	327～	
	商工観光課	観光振興事業	331～	
	商工観光課	都市交流推進事業	335～	
	商工観光課	国際交流推進事業	337～	
	商工観光課	観光施設管理運営事業	339～	
	商工観光課	観光宿泊施設整備事業	343～	
	都市計画課	都市再生整備事業	345～	
	五箇支所	五箇地区観光施設管理運営事業	347～	
	都万支所	都万地区観光施設管理運営事業	349～	
	都万支所	都万地区観光宿泊施設整備事業	351～	
	布施支所	布施地区観光施設管理運営事業	353～	
5.島内流通の活性化を進めます	商工観光課	商工業振興事業	357～	（重複）
	総務学校教育課	学校給食センター管理運営事業	359～	（重複）
	総務学校教育課	学校給食調理事業	361～	（重複）

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	産業人材育成事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 5　項 1　目 1

指標		令和6年度目標値
①	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
②	若年者・UIターン者の雇用者数(5年間の累計値)	60人
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の事業所においては慢性的な人材不足の問題を抱えており、有効求人倍率も高い水準で推移している状況となっている。このため、町内の高校の新卒者の若年者の雇用、UIターン者の雇用対策に産官学民が連携し、産業人材の育成、確保に取り組み、本町における安定した雇用創出を図ることを目的とする。

【事業概要】

町内の産官学民が連携して設立した隠岐の島町雇用対策協議会を中心として、町内事業所を対象とした各種人材育成研修、UIターン者を含む若年者等の雇用に対する補助金制度を制定し、町内での安定した雇用の創出、産業人材の確保・育成を図る。
また、「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」（令和2年6月施行）に基づく、事業協同組合を設立し、地域づくり人材の確保、地域社会の維持及び地域経済の活性化に取り組む。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金
9,510千円
・令和3年度～5年度採用者
20事業所30名
（月額3万円・3年間）

特定地域づくり事業
事業協同組合運営費補助金
4,226千円
隠岐の島町雇用対策協議会補助金
80千円
・会員数：59事業所
民間事業所：45事業所
教育機関：4事業所
関係機関・団体：10事業所
・新卒・若年者研修支援及び人材育成等研修事業(3回)
・ジョブフェア(1回)
・若年者職員交流会(1回)

実績額	13,816 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	2,113 千円
財源内訳 起債	9,500 千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	2,203 千円

実績値				
	①	59事業所	④	
	②	30人	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

特定地域づくり事業については、隠岐の島町地域人材づくり協同組合において取り組みを進めており、令和5年度においては、マルチワーカー2名を雇用している。その他、雇用対策に係る取り組みとして、事業所の採用力向上に係るセミナーの開催、若年者職員のネットワーク形成を目的とした交流会等を実施している。また、女性の働きやすい職場環境づくりを進めるための取り組みの一環として、商工会女性部との意見交換会を実施している。

【②.事業の課題】

少子高齢化の影響による産業人材不足を改善することは喫緊の課題となっている。UIターン者だけでなく外国人材も含めた島外からの人材確保を進めなければ、改善できない状況となっている。島外からの人材確保を進めるためにも労働者向けの住宅確保が必要な状況となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

特定地域づくり事業については、短期的な人材確保にもつながる重要な事業であるため、引き続きUIターン者及び地域おこし協力隊からの移行も含めたマルチワーカーの確保に取り組む。
また、労働者向け住宅の確保については、既存町有施設の有効活用のほか、町内事業所との連携を図った施策の具体的な検討を進める。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

産業振興において、人づくりは必須であり、未来を語るには、最重要課題であると認識しています。事業所が人材不足で苦慮する状況において、令和4年度から実施される「特定地域づくり事業」は大きな鍵を握っています。町内事業所等との連携を密にし、雇用の確保、労働環境整備、ひいては島の経済的発展に繋がることを期待しています。

4.改善・見直し（Action）

町外からの人材確保を促進するため、以下の項目について具体的な施策の検討を進める。
・UIターン促進施策の強化
（つながり創出プロジェクトとの連携）
・空き家バンク制度や公営住宅・民間賃貸住宅の有効活用による労働者向け住宅の確保
・学生インターンシップ等の受け入れ体制の整備
・外国人人材の活用に係る情報提供、支援制度の周知
また、女性活躍のための働きやすい環境整備の推進を図るため、引き続き商工会女性部と連携し、意見交換会、ニーズ調査を実施しながら具体的な施策の立案に取り組む。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	産業人材育成事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-3

5.年度別計画　令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan) 隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 400 千円 町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金 月額：30千円 R4採用者分　8名 R5採用者分 15名 8,280 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　12,000千円 事業費:24,000千円×1/2 ・派遣職員人件費6名 ・事務局運営費 12,000 千円 千円 新）地域おこし協力隊活動費 協力隊1名分 （地域人材づくり協同組合配置） 4,465 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 500 千円 町内事業所の新たな雇用を支援する事業補助金 月額：30千円 R5採用者分 15名 ※事業期間終了 5,400 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　15,000千円 事業費:30,000千円×1/2 ・派遣職員人件費8名 ・事務局運営費 15,000 千円 千円 地域おこし協力隊活動費 協力隊1名分 （地域人材づくり協同組合配置） 4,465 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 500 千円 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　18,000千円 事業費:36,000千円×1/2 ・派遣職員人件費10名 ・事務局運営費 18,000 千円 新）労働者向け賃貸住宅整備支援事業補助金（離島広域活性化事業） ※令和7年度中に、詳細な制度設計を行い事業期間、事業費を決定する。 千円 地域おこし協力隊活動費 協力隊1名分 （地域人材づくり協同組合配置） 4,465 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 500 千円 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　18,000千円 事業費:36,000千円×1/2 ・派遣職員人件費10名 ・事務局運営費 18,000 千円 労働者向け賃貸住宅整備支援事業補助金（離島広域活性化事業） 千円 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 500 千円 千円 特定地域づくり事業推進交付金 事業協同組合補助金 運営費補助金　18,000千円 事業費:36,000千円×1/2 ・派遣職員人件費10名 ・事務局運営費 18,000 千円 労働者向け賃貸住宅整備支援事業補助金（離島広域活性化事業） 千円 千円

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
事業費	25,145 千円	25,365 千円	22,965 千円	18,500 千円	18,500 千円
財源内訳 国補助	千円	6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円	千円
財源内訳 県補助	6,000 千円	7,500 千円	9,000 千円	9,000 千円	9,000 千円
財源内訳 起債	8,600 千円	5,900 千円	500 千円	500 千円	500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	10,545 千円	5,965 千円	7,465 千円	3,000 千円	9,000 千円
目標値 ①	70事業所	70事業所	70事業所	70事業所	70事業所
目標値 ②	60人	60人	60人	60人	60人
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

本町の商工業は人口減少や経済、社会情勢等の変化に伴い、商店の閉店に伴うにぎわいの喪失や利便性の低下、後継者や人材不足等の様々な課題を抱えている。この課題を解決するため、隠岐の島町商工会と連携を図り、課題解決に向けた各種補助金の創設など、町内の中小企業、小規模事業者への支援を行う。

【事業概要】

本町の商工業の活性化及び地域商業機能の維持を図るため、隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画で定めている基本方針、重点課題と対策に基づいた事業に、隠岐の島町商工会を中心に関係機関と連携して取り組みを進める。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○隠岐の島町商工会補助金
運営費補助金　8,135千円
○雇用機会拡充事業補助金
2件　12,665千円
○地域商業等支援事業費補助金
1件　1,000千円
○移動販売継続支援事業費補助金
1件　4,388千円
○創業等信用保証料補助金
281千円
○島根県中小企業制度融資
（預託金）　10,000千円

実績額	36,469 千円
財源内訳　国補助	千円
財源内訳　県補助	11,053 千円
財源内訳　起債	千円
財源内訳　特定	10,000 千円
財源内訳　一般財源	15,416 千円

実績値				
	①	60件	④	5件/年
	②	28件	⑤	10,719百万円/年
	③	59事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度においても、起業・創業、事業拡大等に取り組む事業者に対して、関連する国、県の施策を活用し支援を行った。また、「隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画」の第2期計画の策定作業にも取り組み、令和6年度からの5年間で取り組む重点課題とその対策を定めた。その他、物価高騰対策と消費喚起策としてのプレミアム付き商品券事業を実施している。

【②.事業の課題】

後継者不在による事業承継の問題や人材不足の状況は深刻化しており、事業所の廃業の主な要因となっている。また、町内の消費傾向はコロナ禍後に変化しており、地域の小売店、飲食店等の事業継続にも影響を及ぼしている。長引くエネルギー価格・原材料費の高騰による商工業者、地域経済への影響も懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町内の商工事業所は、これまで本町の経済を根底から支え、その発展に寄与するとともに、雇用やにぎわいを創出し、町民生活の安定及び向上に重要な役割を果たしてきた。「将来にわたり住み続けたい」と実感できるまちづくりを進めていくためには、地域商工事業者の成長と持続的な発展が不可欠であり、町、事業者、地域経済団体及び町民が連携・協働し、中小企業・小規模企業の振興に向けた取り組みを進めていく

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済

事業承継の問題、人材不足、更に新型コロナウィルス感染症の影響により事業継続が危ぶまれる中で、島内事業者にとって重要な施策です。地域商工業の維持、そして活性化が図られるように、事業者の状況等を把握の上、関係機関と連携して現状に即した支援に取り組んで頂きたいです。特に、新型コロナウィルス感染症の影響を受けた事業者への支援に取り組みつつ、アフターコロナを見据えた中長期的な事業者の支援策を講じることが重要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

後期計画においては、第2期中小企業・小規模企業振興計画の重点課題の中で、下記の項目の対策について重点的に取り組むこととする。

○地域内経済循環促進、消費者ニーズへの対応
地域内経済循環の促進としては、消費者の地元購買意欲の向上・利便性の高い事業展開の推進に取り組むほか、地域限定デジタルクーポンの導入について検討を進める。
消費者ニーズへの対応としては、キャッシュレス決済の普及による決済方法の充実化を図る。また、高齢者等の買い物困難者対策についても、福祉部局と連携して取り組みを進める。
○町外人材確保の促進、後継者の確保及び育成の促進
町外からの人材確保の促進については、産業人材育成事業において具体的な政策に取り組む。
後継者の確保及び育成にかかる事業承継対策については、島根県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、第3者承継も含めた支援体制の強化に取り組む。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,191 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　3件　28,469千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 32,969 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 4件 2,000　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 プレミアム付き商品券事業 ※令和5年度からの繰越 59,600 千円 千円	隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 新）キャッシュレス決済普及促進事業 決済手数料補助(上限3千円×12月) 36千円×200件＝7,200千円 スマートレジ導入補助 （上限50千円） 50千円×100件＝5,000千円 12,200 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 キャッシュレス決済普及促進事業 決済手数料補助(上限3千円×12月) 36千円×200件＝7,200千円 スマートレジ導入補助 （上限50千円） 50千円×100件＝5,000千円 12,200 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 キャッシュレス決済普及促進事業 決済手数料補助(上限3千円×12月) 36千円×200件＝7,200千円 スマートレジ導入補助 （上限50千円） 50千円×100件＝5,000千円 12,200 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 千円

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

事業費		124,855 千円			事業費		44,983 千円			事業費		44,983 千円			事業費		44,983 千円			事業費		32,783 千円	
財源内訳	国補助	57,752 千円			財源内訳	国補助	千円			財内訳源	国補助	千円			財源内訳	国補助	千円			財源内訳	国補助	千円	
	県補助	28,924 千円				県補助	1,250 千円				県補助	1,250 千円				県補助	1,250 千円				県補助	1,250 千円	
	起　債	千円				起　債	千円				起　債	千円				起　債	千円				起　債	千円	
	特　定	18,746 千円				特　定	13,251 千円				特　定	13,251 千円				特　定	13,251 千円				特　定	13,251 千円	
	一般財源	19,433 千円				一般財源	30,482 千円				一般財源	30,482 千円				一般財源	30,482 千円				一般財源	18,282 千円	
目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年
	②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年
	③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥	

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興センター整備事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

「隠岐の島町ふれあいセンター」を地域経済の振興を図るための拠点施設（「商工業振興センター」）として整備する。本町の商工業者の中心を担っている中小企業・小規模企業の活性化の根幹を担う隠岐の島町商工会等の事務所として活用することにより、地域経済の活性化を図る。

【事業概要】

「隠岐の島町ふれあいセンター」を「商工業振興センター」として整備する。

①令和4年4月～　施設改修工事に係る調査設計業務を実施
②令和5年7月～　施設改修工事を実施。
③令和6年6月～　隠岐の島町商工会、隠岐法人会、隠岐の島町地域人材づくり協同組合の事務局事務所として利用開始

2.令和　5　年度事業実績（Do）

隠岐の島町商工業振興センター
改修工事　86,288千円
工事監理業務等　2,309千円

実績額		88,597 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	58,400 千円
	特定	30,008 千円
	一般財源	189 千円

実績値				
	①	60件	④	5件/年
	②	28件	⑤	10,719百万円/年
	③	59事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度において、旧ふれあいセンターの内装、屋上防水、空調機器等の改修、パーテーション設置等の工事を実施し、令和6年6月から商工会、法人会、地域人材づくり協同組合の事務所として利用を開始している。施設整備後の管理運営方法については、隠岐の島町商工会と管理協定を締結している。

【②.事業の課題】

令和5年度において、改修工事を実施しているが、令和2年の庁舎移転後から令和6年の利用開始まで約4年間の利用していない期間があったこともあり、供用開始後に発生している経年劣化による受変電設備、照明設備等の不具合箇所について、再度改修工事を行わなければならない状況となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

地域経済の活性化を図る拠点施設としての機能を活かすためにも、必要な改修を行う必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

利用開始後の施設の管理運営については、商工会と管理協定を締結し適切な施設運営を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興センター整備事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-5

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)		隠岐の島町雇用対策協議会補助金 10/10補助			
	千円	45,595 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	45,595 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	45,500 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	95 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	60件	60件			
目標値 ②	7件	7件			
目標値 ③	70事業所	70事業所			
目標値 ④	25件/年	25件/年			
目標値 ⑤	13,304百万円/年	13,304百万円/年			
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	水産業振興事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	FRP漁船廃棄処分輸送費支援事業
関連計画	隠岐の島町水産業振興事業

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	2

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570ｔ/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

近年の漁獲量の減少、漁業就業者の高齢化・後継者不足など、本町における水産業の様々な課題の解決に向け、漁場環境の改善、漁業就業者の確保等を図る。

【事業概要】

漁場環境の改善、漁業就業者の確保に向けた取り組みを実施する。
◇マダイ放流事業　　放流尾数　25万尾/年
◇水産業振興補助金
　・FRP漁船廃船処理支援事業（1/2 助成）
　・廃棄漁網輸送費支援事業（1/2 助成）
◇沿岸漁業スタートアップ事業補助金（2/3 補助）
◇自営漁業者自立給付金（10万円/月・5万円/月 給付）

2.令和　5　年度事業実績（Do）

◇マダイ放流事業負担金
　マダイ稚魚放流　25万尾
　1,930千円

◇水産業振興事業補助金
　FRP漁船解体輸送費支援　7件
　863千円
　廃棄漁網輸送費支援　1件
　40千円

◇沿岸漁業ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ事業補助金
　1件
　2,000千円

◇自営漁業者自立給付金　3件
　3,600千円

◇水産業競争力強化漁船導入促進事業補助金　1件
　20,000千円

実績額		28,433 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	12,800 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	15,633 千円

実績値				
	①	155t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

FRP漁船の廃船処理支援については、助成件数こそ減少したが相談件数は前年度同様多数あった。
新規沿岸自営漁業者への支援を引き続き行ったことにより、令和5年度において1名の沿岸自営漁業者の確保に繋がった。（累計認定新規沿岸自営漁業者：3名）

【②.事業の課題】

廃棄が必要な数多くのFRP漁船が、依然として町内の漁港・港湾・河川等に放置されており、景観を損なうだけではなく、他の漁業者や近隣住民とのトラブルが発生するなど社会問題となっている。
また、高齢化等による漁業就業者の減少が顕著であるため、引き続き新規漁業者の確保に努める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

マダイ稚魚等の放流を継続して行うことにより、沿岸漁業資源の維持・回復を図る。
引き続きFRP漁船の廃船処理を支援し、町内の景観保全、漁港・港湾・河川等の適正な管理を行う。
新たに沿岸自営漁業者を目指す方を支援し、高齢化・後継者不足といった問題解決を図る。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和６年度評価済

水産業は、島を支える重要な基幹産業であり、本事業は大変重要なものと認識しています。
水産業の振興及び活性化のためにも、漁業者の確保が重要であるが、高齢化等により漁業者は減少傾向にあります。漁場環境の改善や若年層の漁業参入支援、また、地域振興や商工観光振興にも繋がる官民協働による事業展開など、引き続き漁業者確保に資する取組を推進してください。

4.改善・見直し（Action）

FRP製品は島内での処分が困難であることから、島内での解体費・本土への移送経費について助成するFRP漁船廃船処理支援事業を引き続き実施する。
また、新規沿岸自営漁業希望者の情報を隠岐支庁と共有し、適正な事務処理・執行に努める。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	水産業振興事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-1

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円	マダイ放流事業負担金 （社団法人 島根県水産振興協会） 2,462 千円
	水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円	水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円	水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円	水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円	水産業振興補助金 ・FRP漁船廃船処分輸送費支援 ・廃棄漁網輸送費支援 ・隠岐のいわがき生産振興支援 2,450 千円
	沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円	沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円	沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円	沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円	沿岸漁業スタートアップ事業補助金 ・中古漁船、漁具取得費支援（3件） 6,000 千円
	自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（7件） 7,000 千円	自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（10件） 10,800 千円	自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（13件） 13,400 千円	自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（12件） 14,400 千円	自営漁業者自立給付金 ・漁業定着支援給付金（14件） 16,800 千円
	千円	水産業競争力強化漁船導入促進事業補助金（バイ籠本船 19ｔ） 20,000 千円	水産業競争力強化漁船導入促進事業補助金（バイ籠本船 19ｔ） 20,000 千円	千円	千円
	千円	水産業競争力強化漁船導入促進事業補助金（まき網本船 19ｔ） 20,000 千円	水産業競争力強化漁船導入促進事業補助金（定置網漁船 19ｔ） 20,000 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	17,912 千円	61,712 千円	64,312 千円	25,312 千円	27,712 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	6,500 千円	28,400 千円	29,700 千円	10,200 千円	11,400 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	11,412 千円	33,312 千円	34,612 千円	15,112 千円	16,312 千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	離島漁業再生支援事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町水産業振興計画
予算区分	一般会計　款 6　項 3　目 2

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

近年、漁業生産量の減少、漁業従事者の高齢化・後継者不足等により年々町内漁業者は厳しい状況下にあるため、地域資源である漁場の生産力の向上を図りつつ、地域の創意工夫により離島の特性を最大限に活用し、離島漁業の再生を図る。

【事業概要】

隠岐の島町漁業集落へ離島漁業再生支援交付金を交付する。
　対象世帯数：720世帯（7地区）　令和6年度（第4期　5年目／5年）
◇種苗放流（アワビ・キジハタ・カサゴ・クエ　他）
◇漁場改善・管理（磯焼け対策、藻場除去）
◇産卵・育成場整備（漁礁設置、築いそ）
◇漁場監視（違反漁業調査）
◇新たな魚種・漁法への取組み（視察研修、漁具導入）
◇加工場整備、加工品開発（水産加工場整備、施設改修）

2.令和　5　年度事業実績（Do）

◇会議費、報酬、備品購入
8,481千円

◇種苗放流
30,066千円

◇漁場管理、漁礁設置、築いそ
16,678千円

◇産品ブランド化、魚食普及事業
11,519千円

◇流通体制改善、新漁法取り組み
5,724千円

◇加工場整備、加工品開発
2,550千円

◇その他
32,988千円

◇事務費
2,236千円

実績額		110,242 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	84,223 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	26,019 千円

実績値				
	①	155t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

漁獲量が減少している中、漁礁設置・養殖場整備等、漁場の生産力の向上に向けた取り組みを実施し、地域漁業の活性化を図るとともに、年々減少する漁業就業者数の維持・後継者育成に向けた取り組みを実施した。また、各漁業集落施設の改修・整備を継続して行ったことにより、漁業者の就業環境の改善、利便性の向上が得られている。

【②.事業の課題】

隠岐諸島は、四方を日本海に囲まれた素晴らしい漁場環境を有する一方で、漁獲物の島外への移出・販売、漁業資材の移入などの点において、離島という不利な条件下に置かれ、様々な課題を抱えている。また、漁業者の高齢化が顕著であり、後継者の育成も大きな課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

漁業の基盤となる漁場の保全や、島内各集落での話し合いを通じて集落機能の再編を実施し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入、産地間競争に打ち勝っていくための環境を整えるとともに、漁場環境の保全活動を継続的に実施する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

安定した漁獲量の確保、漁場の生産力向上につながるよう、引き続き各漁業集落を支援する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	離島漁業再生支援事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-2

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	離島漁業再生支援交付金（第4期　5年目/5年） 108,800 千円	離島漁業再生支援交付金（第5期　1年目/5年） 108,800 千円	離島漁業再生支援交付金（第5期　2年目/5年） 108,800 千円	離島漁業再生支援交付金（第5期　3年目/5年） 108,800 千円	離島漁業再生支援交付金（第5期　4年目/5年） 108,800 千円
	事務費 2,404 千円	事務費 2,404 千円	事務費 2,404 千円	事務費 2,404 千円	事務費 2,404 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	111,204 千円	111,204 千円	111,204 千円	111,204 千円	111,204 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	84,785 千円	84,785 千円	84,785 千円	84,785 千円	84,785 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	26,419 千円	26,419 千円	26,419 千円	26,419 千円	26,419 千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	特産品流通推進事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町水産業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	原木製品材の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②	米の出荷量（KPI）	476t/年
③	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
④	戦略産品（飲料）の島外出荷量	90,000ℓ/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

離島という不利な立地条件の下、町産品の本土への出荷を支援し、島内事業者の創業・事業拡大を支援することにより生産者の所得向上、産品のブランド化、販路開拓・拡大を目指す。

【事業概要】

町内産品の島外流通、ブランド化を支援する。
◇戦略産品海上輸送費支援事業
　隠岐-本土間の産品の海上輸送費を、8/10を上限とし助成する。
　対象品目：木材・製材・鮮魚・飲料等
◇雇用機会拡充事業
　町内における雇用増に寄与する民間事業者等に対し、創業・事業拡大に要する資金を補助することにより雇用機会の拡充を図る。
　補助率：7.5/10（消費税は対象外）

2.令和　5　年度事業実績（Do）

◇海上輸送費支援事業
65,019千円

◇雇用機会拡充事業
10,198千円

実績額		75,217 千円
財源内訳	国補助	48,763 千円
	県補助	8,497 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	17,957 千円

実績値				
	①	17,916㎥/年	④	54,528ℓ/年
	②	401t/年	⑤	
	③	205t/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

戦略産品海上輸送費支援事業により、本土への産品出荷支援を継続して行うことで、生産者の所得向上に寄与している。
また、雇用機会拡充事業を活用し、島内事業所の事業拡大に伴う費用を支援したことにより、Iターン者の雇用確保に繋がった。

【②.事業の課題】

本町の特産品・生産品は、その品質が良いにも関わらず島外での認知度が低い。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本土への産品出荷の継続及び、民間事業者等の雇用を伴う起業・事業拡大は、地域社会維持推進のためには必要不可欠である。国県の補助事業を活用し、事業者等の所得向上、雇用の維持・増加を目指す。
町にはブランド産品になり得る特産品が多くあるため、町産品のブランド化を見据えた事業実施に努め、引き続き島外へ向けたPRに尽力する。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　**令和４年度評価済**

農林水産物の価格が低迷する中で、町産品の販路拡大や生産者の所得向上につながることが期待できる事業です。しかし、町のブランド品が確立されていない中で、町の施策としてどのように町のブランド品を生み出していくのかを具体的に示されていません。町のブランド品を確立し、かつ、町民誰もが町のブランド品がわかるように、ブランド戦略を立てて効果的な販路拡大に取組んで頂きたいです。

4.改善・見直し（Action）

県内はもちろんのこと、県外で実施される産品商談会・各種フェアへも参加するなど、産品のPRを積極的に展開していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	特産品流通推進事業	担当	農林水産課 水産振興室	整理番号	農-3

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・製材・鮮魚・飲料等） 74,800 千円 雇用機会拡充事業補助金 （創業:2件） 8,637 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・製材・鮮魚・飲料等） 74,800 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・製材・鮮魚・飲料等） 74,800 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・製材・鮮魚・飲料等） 74,800 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	戦略産品海上輸送費支援事業 （木材・製材・鮮魚・飲料等） 74,800 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※補助額は事業者決定後に算出 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	83,437 千円	74,800 千円	74,800 千円	74,800 千円	74,800 千円
財源内訳 国補助	56,100 千円	56,100 千円	56,100 千円	56,100 千円	56,100 千円
財源内訳 県補助	7,197 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	20,140 千円	18,700 千円	18,700 千円	18,700 千円	18,700 千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年
目標値 ③	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ④	90,000ℓ/年	90,000ℓ/年	90,000ℓ/年	90,000ℓ/年	90,000ℓ/年
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業総務事務	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町有害鳥獣防止計画
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476ｔ/年
②	子牛の出荷頭数（KPI）	400頭/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

有害鳥獣駆除により農作物・家畜等被害を防ぎ、農林水産業の活性化を図る。

【事業概要】

隠岐島猟友会と有害鳥獣駆除業務契約を実施し、被害防止に努める。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

有害鳥獣駆除業務委託料
1,568千円
・有害許可捕獲数　132羽

実績額		1,568 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	1,568 千円

実績値				
	①	56.40%	④	
	②	401t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

農林水産関係の被害は、農業に関するものでは水稲や収穫前の野菜等に、畜産業においては繁殖牛に対して顕著に見られる。加害鳥獣としてはスズメ・カラス・カモ類・サギ類が主である。
これまでも捕獲対策を実施してきており、一定の成果を上げているが、依然として被害が発生している。

【②.事業の課題】

猟友会員のうち捕獲班として有害鳥獣捕獲に従事する者の高齢化が進んでおり、将来を見据えた育成が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

鳥獣被害の防止のため、有害鳥獣捕獲班員の確保、保護機材の導入検討、及び、射撃場の修繕や鳥獣被害防止のための講習会等の実施を検討する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

狩猟免許試験実施の広報など担い手の確保策について検討する。
実施隊の編成や対象鳥獣捕獲員については、今後の被害の推移等を勘案し、その設置を検討していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業総務事務	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-4

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	有害鳥獣駆除業務委託料 1,606 千円	有害鳥獣駆除業務委託料 1,606 千円	有害鳥獣駆除業務委託料 1,606 千円	有害鳥獣駆除業務委託料 1,606 千円	有害鳥獣駆除業務委託料 1,606 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,606 千円	1,606 千円	1,606 千円	1,606 千円	1,606 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,606 千円	1,606 千円	1,606 千円	1,606 千円	1,606 千円
目標値 ①	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年
②	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業経営対策推進事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-5

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	意欲ある担い手への農地集積率（KPI）	67%
②	米の出荷量（KPI）	476ｔ/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

担い手への農地の集積・集約化による水田のフル活用を図り、需要に応じた生産の促進と、水田農業の所得向上等により、新規就農者の確保及び農業経営の安定を図る。

【事業概要】

担い手への農地の集積・集約化による、農業経営の合理化を進めると共に、新たな担い手の確保・経営の早期確立を図る為、経営資金を交付する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

農地利用集積円滑化団体支援事業
29,294千円

機構集積協力金事業
4.1 ha　668千円
（機構集積）担い手集積支援金
4.5　ha　916千円

農業次世代人材投資事業
1名　1,500千円

環境保全型農業直接支払交付
9.18ha　551千円

五箇ライスセンター
機械更新事業ミニ油圧ショベル
1台　3,740千円

WCS用稲収穫機一式(JA1/2負担)
専用コンバイン、ラップマシン
各1台　9,090千円

農業振興地域整備計画策定事業
6,105千円

実績額		51,864 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	1,913 千円
	起債	38,200 千円
	特定	千円
	一般財源	11,751 千円

実績値				
	①	56.4%	④	
	②	401t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

県内では2番目の集積率となっており、担い手への農地集積が進み経営規模の拡大が図られている。また、米価が低迷する中でWCS用稲への転換が拡大しており、WCS用稲収穫機導入支援により水稲農家の安定した生産と経営の安定化が図られた。新規就農者確保においては、令和8年に野菜で就農予定のUターン者と就農に向けたフォーローアップを継続している。

【②.事業の課題】

担い手への農地集積が進む一方で、農地の分散により作業効率が低下し、引受可能な農地にも限界がきつつある。また、離農、高齢化により着実に農家数は減少し、農地の荒廃化が危惧される中で、大規模に農地の受け手となる新規水稲農家の確保に至っていない。併せて、野菜の島内需要はありながらも担い手不足や高齢化により、供給量が追いついていない状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

食料の安定供給を図るためにも、利用農地を維持することは重要であるため、担い手への農地集積を進めながら農地の集約化を図り、作業効率の向上と生産コストの低減を推進していく。また、農地の受け手となる新たな水稲の担い手を確保し、限られた農地で高収益が得られる野菜の生産推進と担い手を確保することも必要である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

島の農業を維持するために農家への支援は必要であると判断します。農地の集積による農業経営の合理化を進め、また新規就農者の確保に引き続き取組んで下さい。

隠岐という地域特性にあった国や県の補助事業がなかなかない状況ではあるが、引き続き担い手への農地集積・集約化、農家の所得向上に繋がるように取組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

令和5～6年度にかけて、農地一筆ごとの目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定める。21の地域ごとで話合い、農地が適切に、かつ、利用されやすくなるように担い手への農地の集積集約化を図る。

産業体験、就農相談ツアー等により島内外から幅広く人材を募集していく。関係機関と連携したサポート体制により、新規就農希望者の就農前からの細やかなフォローアップを行なっていく。

新たな野菜農家確保のため、お試しハウスの利用促進や就農パッケージによる募集を行なっていく。

新たな水稲農家確保のため、雇用就農・自営就農の受入体制について検討していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業経営対策推進事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-5

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	農地利用集積円滑化団体支援事業 30,262 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 30,262 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 30,262 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 30,262 千円	農地利用集積円滑化団体支援事業 30,262 千円
	機構集積協力金事業 地域集積　1.1ha 担い手集積 9.89ha 2,154 千円	機構集積協力金事業 地域集積　1.1ha 担い手集積 9.89ha 2,154 千円	機構集積協力金事業 地域集積　1.1ha 担い手集積 9.89ha 2,154 千円	機構集積協力金事業 地域集積　1.1ha 担い手集積 9.89ha 2,154 千円	機構集積協力金事業 地域集積　1.1ha 担い手集積 9.89ha 2,154 千円
	農業次世代人材投資事業 千円	千円	経営開始資金 1,500 千円	経営開始資金 1,500 千円	経営開始資金 1,500 千円
	環境保全型農業直接支払交付金 34.5ha 2,070 千円	環境保全型農業直接支払交付金 35ha 2,100 千円	環境保全型農業直接支払交付金 35ha 2,100 千円	環境保全型農業直接支払交付金 35ha 2,100 千円	環境保全型農業直接支払交付金 35ha 2,100 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	34,486 千円	34,516 千円	36,016 千円	36,016 千円	36,016 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	3,707 千円	3,729 千円	5,229 千円	5,229 千円	5,229 千円
財源内訳 起債	30,200 千円	30,200 千円	30,200 千円	30,200 千円	30,200 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	579 千円	587 千円	587 千円	587 千円	587 千円
目標値 ①	67%	67%	67%	67%	67%
目標値 ②	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業活性化事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	意欲ある担い手への農地集積率（KPI）	67%
②	米の出荷量（KPI）	476ｔ/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

水田のフル活用と需要に応じた生産の促進により、水田農業の所得向上等を図り、中心経営体の経営安定化及び新規就農者の確保により、持続可能な農業を展開する。

【事業概要】

担い手の施設整備を支援し、経営の強化・安定を図ると共に、特色ある米作りにより他の産地との差別化と、高収益作物の導入による所得の向上を図る。
・認定農業者の機械・施設整備
・農業用施設・機械等更新整備

2.令和　5　年度事業実績（Do）

農地乾田化推進事業
4名：1,242m　　316千円

実績額	316 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	316 千円

実績値				
	①	56.4%	④	
	②	401t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年産米は高温障害により過去に例を見ない一等米比率が少なく、また、米価低迷による転作作物への転換が進んだことで主食用水稲の作付け面積が減少し、米の出荷量は減少傾向が続いている。

【②.事業の課題】

農業用資材の高騰、エネルギー価格の高騰など生産コストが上昇していながら、米価への価格転嫁が進まず、担い手の農業経営は厳しさを増し、通常の生産コストの低減では経営の安定化が難しい状況である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

安定した収量確保のための栽培技術の向上や作業の省力化、需要に応じた生産に向けて、先進技術・コスト削減技術の導入により生産コストの低減を図ることが必要である。また、農業制度を有効活用しながら担い手の経営の安定化が図られるように支援していく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和４年度評価済

昨今の原油、肥料、資材の高騰に加え、需要の減少による更なる米価の下落が懸念される中、農家への支援は重要であると考えます。農業は隠岐の島町にとって基幹産業の一つであり、食糧需給に寄与することは当然のことながら、「国土の保全」や「田んぼのダム機能」など多面的な機能を有しています。町の活性化のためにも、関係機関や農家との連携のもと、持続可能な農業経営を実現できるよう継続して取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

米の生産コストの低減、作業の省力化を図るため、ドローン直播による実証実験を令和5～7年度の3年間で実施する。

中心経営体である認定農業者の農業経営改善計画の策定支援、各種補助・融資等の相談に応じ、経営改善に向けた支援を行なっていく。

島根県やJAと連携して米や野菜の収量向上や品質向上に向けて各種情報提供や研修会等を行なっていく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業活性化事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-6

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	農地乾田化推進事業　L＝2,200m 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 都万農産品流通拠点施設設備更新事業 農機具倉庫シャッター 2棟 935 千円 五箇ライスセンター空調設備更新事業 701 千円 久見特産品加工施設空調設備更新事業 1,078 千円 西郷地区穀類乾燥調製施設エアコン更新事業 700 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200m 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） ハウス2棟　7,500千円 千円 千円 五箇ライスセンター機械更新事業 2tダンプトラック（籾運搬等用） 施設外壁修繕 5,300 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200m 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） ハウス2棟　7,500千円 千円 千円 五箇ライスセンター設備更新事業 施設外灯 500 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200m 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 千円 五箇ライスセンター設備更新事業 育苗ハウス（1/5棟） 5,000 千円 千円 千円 千円 千円	農地乾田化推進事業　L＝2,200m 660 千円 農業活性化対策支援事業 ※事業採択後計上 （ハウス、機械整備） 千円 千円 五箇ライスセンター設備更新事業 育苗ハウス（2/5棟） 5,000 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	4,074 千円	5,960 千円	1,160 千円	5,660 千円	5,660 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4,074 千円	5,960 千円	1,160 千円	5,660 千円	5,660 千円
目標値 ①	67%	67%	67%	67%	67%
目標値 ②	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年	476ｔ/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中山間地域等直接支払事業（第5期対策）	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	3

指標		令和6年度目標値
①	意欲ある担い手への農地集積率（KPI）	67%
②	米の出荷量（KPI）	476t/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

農業就業人口の減少と、高齢化が著しい中山間地域において、農地の荒廃を防ぎ、農用地の持つ多面的機能を発揮させる必要がある。

また、食料自給力向上の観点からも、農地の維持が必要不可欠である。

【事業概要】

5年間継続して耕作放棄地の発生防止などの活動を行う場合、定額により交付金を支給する。

（田急）21,000円又は16,800円
（田緩）8,000円又は6,400円
（畑急）11,500円又は9,200円
（草地急）1,000円
（草地緩）300円

2.令和　5　年度事業実績（Do）

中山間地域等直接支払事業
集落単位の協定※数：48
農業者個別の協定数：4

総額：45,125,763円
国費：22,562,864円
県費：11,281,416円
町費：11,281,483円

※協定：農地の保全活動を行う農業者の団体

星登り、上三里、渡ゼ、アッソンの4協定で広域化を行い、新たに上三里協定となったので交付金の広域化加算を交付されている。

実績額		45,126 千円
財源内訳	国補助	22,563 千円
	県補助	11,281 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	11,282 千円

実績値				
	①	56.4%	④	
	②	401t/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業で農地保全活動を行う各協定が活動資金を確保することができ、各農業者が共同で農地の保全活動を行うため、荒廃農地の発生防止のために一定の役割を果たしている。また一部協定では保全する農地の規模拡大が行われた。

【②.事業の課題】

農業者の高齢化や後継者不足によって、保全する農地の規模を縮小したり、解散せざるを得ない協定が出てきている。その為、農地の荒廃化が危惧される地域も一部ではあるが見受けられる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

更なる農地保全の規模縮小や、農地の荒廃化を防ぐために本事業による各協定、各農業者への支援は続けていく必要がある。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

農業者の高齢化や後継者不足によって、農地の荒廃化が危惧される。その為、集落協定同士による連携加算等の措置等を利用した支援が必要である。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中山間地域等直接支払事業（第5期対策）	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-7

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	中山間地域等直接支払事業 第5期対策　5年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　1年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　2年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　3年目	中山間地域等直接支払事業 第6期対策　4年目
	45,020 千円	44,580 千円	44,580 千円	44,580 千円	44,580 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	45,020 千円	44,580 千円	44,580 千円	44,580 千円	44,580 千円
財源内訳 国補助	22,510 千円	22,290 千円	22,290 千円	22,290 千円	22,290 千円
県補助	11,255 千円	11,145 千円	11,145 千円	11,145 千円	11,145 千円
起債	千円	千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	11,255 千円	11,145 千円	11,145 千円	11,145 千円	11,145 千円
目標値 ①	67%	67%	67%	67%	67%
②	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	畜産業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	隠岐牛産地強化プロジェクト行動計画・隠岐の島町肉用牛近代化計画
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	子牛の出荷頭数（KPI）	400頭/年
②	繁殖雌牛頭数	700頭
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐牛産地拡大プロジェクト行動計画および肉用牛生産近代化計画に基づき、隠岐牛生産基盤の整備を図り、本町の肉用牛の増頭と改良に資することにより畜産経営を拡大して地域農業の活性化を図る。

【事業概要】

繁殖雌牛の増頭・保留や公共牧野の機能回復を推進し、繁殖基盤の強化を図るとともに、新たな担い手の育成、畜産農家への各種支援などを行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

公共牧野再整備事業
　シバ播種実証実験
　　990千円
繁殖雌牛導入事業（29頭）
　　導入　4頭
　　自家保留　25頭
　　3,500千円
肉用牛等肥育促進事業（10頭）
　　1,476千円
肉用牛輸送費補助事業（56頭）
　　3,200千円
繁殖雌牛更新対策事業（3頭）
　　増頭　1頭
　　更新　2頭
　　350千円
授精事業費補助事業
　　2,254千円
産地創生事業
　受精卵移植（9個）
　放牧監視システム導入（親機4台子機30台）
　隠岐産素牛東京枝肉研究会(4名)
　放牧再生技術機械を活用した現地実演
　　3,037千円

実績額		14,807 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,948 千円
	起債	千円
	特定	100 千円
	一般財源	11,759 千円

実績値				
	①	353/頭	④	
	②	524頭	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐牛産地強化プロジェクトおよび肉用牛生産近代化計画に則って繁殖雌牛の増頭や牧野再整備、畜産農家への各種補助などに取り組んでおり、目標達成（繁殖雌牛頭数700頭・子牛出荷頭数400頭/年）に向かって繁殖牛の増頭および放牧面積の拡大による繁殖基盤の強化を図っている。

【②.事業の課題】

順調に繁殖雌牛頭数および子牛出荷額を増加させてきた一方で、畜産農家の高齢化が進んでいる。近い将来での離農による農家戸数減が想定されており、今後産地としての規模をいかに維持・拡大していくかが課題である。またウクライナ情勢や円安の影響もあって飼料価格が高騰し、隠岐市場の子牛販売価格は過去5年間で最低価格となり畜産経営にも大きな打撃となったことも課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

繁殖雌牛の増頭や更新・牧野整備を中心に繁殖基盤の強化を図り、また新たな担い手も確保していくことで本町の主要産業として今後さらに発展していけるよう畜産業振興を推進していく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和５年度評価済

畜産業についても、他の産業と同じく、担い手不足や物価高騰、そして子牛価格の下落に悩まされていると認識をしています。
　担い手の確保支援は当然のごとく行わなければならないことと考えますが、それと同時に、現在畜産業を営んでいる方々が事業を継続できるよう、今の悩みや不安など、しっかりと声を聴くことが重要であると考えます。
　また、外部の変化に影響されにくい、島ならではの畜産環境や、AIを活用したスマート畜産の検討も必要と考えます。

4.改善・見直し（Action）

産地としての規模を維持していくためには、新たな担い手の確保および中核的農家の規模拡大が必須であり、特に新規就農者確保についてJAや和牛改良組合、隠岐支庁などの関係機関と連携しながら進めていく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	畜産業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-8

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	繁殖雌牛導入事業（35頭） 5,750 千円 肉用牛肥育促進事業(10頭) 1,800 千円 肉用牛輸送費補助事業（25頭） 1,750 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（16頭） 2,400 千円 産地創生事業 受精卵移植（40個） 隠岐産素牛東京枝肉研究会 畜産ヘルパー制度導入補助 雑灌木除去機械導入 2,393 千円 千円 千円 千円 千円	繁殖雌牛導入事業（35頭） 5,750 千円 肉用牛肥育促進事業(10頭) 1,800 千円 肉用牛輸送費補助事業（35頭） 2,450 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（16頭） 2,400 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 千円 千円 千円	繁殖雌牛導入事業（35頭） 5,750 千円 肉用牛肥育促進事業(10頭) 1,800 千円 肉用牛輸送費補助事業（35頭） 2,450 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（16頭） 2,400 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 (新)死亡家畜一時保管施設 設備更新事業 冷凍コンテナ(三相200V 5.5kw) 6,600 千円 千円 千円	繁殖雌牛導入事業（35頭） 5,750 千円 肉用牛肥育促進事業(10頭) 1,800 千円 肉用牛輸送費補助事業（35頭） 2,450 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（16頭） 2,400 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 千円 千円 千円	繁殖雌牛導入事業（35頭） 5,750 千円 肉用牛肥育促進事業(10頭) 1,800 千円 肉用牛輸送費補助事業（35頭） 2,450 千円 受精事業費補助事業 2,254 千円 繁殖雌牛更新対策事業（16頭） 2,400 千円 千円 繁殖雌牛貸付事業（5頭） 3,500 千円 千円 千円 千円

	令和　6　年度	令和　7　年度	令和　8　年度	令和　9　年度	令和 10　年度
事業費	16,347 千円	18,154 千円	24,754 千円	18,154 千円	18,154 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	4,600 千円	2,400 千円	2,400 千円	2,400 千円	2,400 千円
財源内訳 起債	千円	千円	6,600 千円	千円	千円
財源内訳 特定	100 千円	100 千円	500 千円	1,000 千円	1,500 千円
財源内訳 一般財源	11,647 千円	15,654 千円	15,254 千円	14,754 千円	14,254 千円

目標値	令和　6　年度	令和　7　年度	令和　8　年度	令和　9　年度	令和 10　年度
①	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年
②	700頭	700頭	700頭	700頭	700頭
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公共牧野整備事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	子牛の出荷頭数（KPI）	400頭/年
②	繁殖雌牛頭数	700頭
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

近年の繁殖雌牛増頭に加え、牧野の老朽化・荒廃も進んでおり、放牧面積が不足している。このため、新たな牧野の造成及び既存牧野の再整備をすることにより、放牧面積の拡大、牧養力の向上を図る。

【事業概要】

新規牧野の整備とともに、既存牧野の再整備も併せて実施する。
平成30年度～令和6年度までの7年間で、新規牧野1箇所（11ha）および既存牧野5箇所（44ha）を整備する。
また、令和7年度以降においても既存牧野内の雑灌木除去・シバ播種・馴致施設などの再整備を実施し、継続して放牧面積の維持、牧養力の向上を図る。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

草地畜産基盤整備事業
　銚子牧野再整備
　（雑灌木除去・隔障物整備）
　　町負担金　　9,984千円

実績額		9,984 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	9,900 千円
	特定	千円
	一般財源	84 千円

実績値				
	①	353/頭	④	
	②	524頭	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐牛産地強化プロジェクトおよび肉用牛生産近代化計画に則って牧野整備に取り組んでいるが、令和3年度に起きた豪雨災害の復旧工事等により、本来3年度及び4年度中に行う予定であった牧野整備、個人草地改良等の整備が遅れ、令和5年度に実施し、令和6年度に牛舎・堆肥舎整備、五箇地区の空峰牧野の再整備することになった。

【②.事業の課題】

近年牧野の新規整備を進めた結果、放牧面積および繁殖雌牛・子牛出荷頭数は右肩上がりに増加してきた。一方で、整備から年数の経った既存牧野においては、老朽化・荒廃が進み、牧養力の低下が課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

放牧を主体とする本町の飼養体系には牧野整備が不可欠であり、今後の増頭に備え、本事業を活用しながら新規整備および既存牧野の再整備も併せて実施していく。公共牧野整備は効率的で低コストな畜産経営を推進するために不可欠な事業である。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　**令和６年度評価済**

本町の畜産振興において、公共牧野による放牧は、肥育に係る経費や作業量の節減、牛の健康状態の向上、その景観の観光活用など非常に効果的であり、畜産農家の所得向上、担い手確保のためにも必要な事業となっています。
しかし、町内各所の公共牧野によっては、未だ以前の災害による破損部分がそのままなど、早急な整備が必要なところもあります。隠岐の島町が目指す畜産振興の展望を見据えた計画的かつ効果的な牧野整備を実施してください。

4.改善・見直し（Action）

新規牧野整備と併せて既存牧野の再整備も進めていく方針である。老朽化・荒廃の進んだ既存牧野を再整備することで、より効率的に放牧面積の拡大・牧養力の向上を図ることができ、費用対効果も大きいと考える。
令和6年度までは国庫事業を活用し整備を行う計画となっているが、事業主体が町でないことや様々な事業上の制限がかかることから、思うような整備ができていないのが現状である。令和7年度以降の国庫事業完了後においては、JAや牧野管理組合と連携しながら改めて整備計画を作成し、より効果的で放牧農家から必要とされる整備を町単事業にて実施する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	公共牧野整備事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-9

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	草地畜産基盤整備事業 西村牧野整備事業 町負担金 21,150 千円	千円	千円	千円	千円
	五箇牧野整備事業 町負担金 27,278 千円	千円	千円	千円	千円
	個人草地整備事業 町負担金 876 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	牧野再整備事業 シバ播種 2,000 千円	牧野再整備事業 シバ播種 2,000 千円	牧野再整備事業 シバ播種 2,000 千円	牧野再整備事業 シバ播種 2,000 千円
	千円	牧野再整備事業 雑灌木除去　2ha 10,000 千円	牧野再整備事業 雑灌木除去　2ha 10,000 千円	牧野再整備事業 雑灌木除去　2ha 10,000 千円	牧野再整備事業 雑灌木除去　2ha 10,000 千円
	千円	牧野再整備事業 馴致施設整備　２箇所 2,000 千円	千円	千円	千円
	千円	牧野再整備事業 隔障物整備　1,000m 10,000 千円	牧野再整備事業 隔障物整備　1,000m 10,000 千円	牧野再整備事業 隔障物整備　1,000m 10,000 千円	牧野再整備事業 隔障物整備　1,000m 10,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円

	令和　6　年度	令和　7　年度	令和　8　年度	令和　9　年度	令和 10　年度
事業費	49,304 千円	24,000 千円	22,000 千円	22,000 千円	22,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	48,400 千円	12,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
財源内訳 特定	876 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	28 千円	12,000 千円	12,000 千円	12,000 千円	12,000 千円
目標値 ①	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年	400頭/年
目標値 ②	700頭	700頭	700頭	700頭	700頭
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	働く場づくりプロジェクト ペレット原木搬出補助金
関連計画	隠岐の島町森林整備計画
予算区分	一般会計　款 6　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

木材、製材の島外への出荷拡大や森林資源の多面的利用を推進し、林業の振興と森林の適正管理を推進する。

【事業概要】

林業経営の低コスト化のための施設整備や、各種補助事業を実施する。
また、木材の利用を促進するための制度を創設する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

緑の担い手協調助成金
　1社　　480千円
間伐材搬出助成補助金
　845㎥　　1,435千円
育林支援事業
　下刈74ha　植栽28ha
　3,204千円
町産材木造住宅づくり支援補助金
　28件　　14,232千円
椎茸生産拡大事業補助金
　8名　　88千円
林内路網整備事業
　4,595m　　4,595千円
高性能林業機械導入支援
　2台　　13,372千円
合板用原木供給先転換支援事業
　790㎥　　3,950千円

実績額		41,356 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	41,356 千円

実績値				
	①	17,916㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

植栽や下刈り、間伐材搬出への支援、高性能林業機械の導入費用への助成等により、島内の素材生産量の底上げを図った。また、町産木材の活用においては、木造住宅助成事業により町産木材の利用量444㎥の活用が図られた。
島外出荷については、出荷先工場の受け入れ制限により前年度から微減したが、海上輸送費支援事業により約17,916㎥の出荷につながった。

【②.事業の課題】

林業従事者が年々減少しているため、林業従事者の育成や担い手確保は急務となっている。また近年林業の施業地確保が必要となりつつある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

林業は島内の産業活性化を図るうえで重要な役割であり、今後も低コスト造林を図るための各種補助事業や、林業従事者の育成、担い手確保により事業継承をしていく必要がある。また、森林資源を有効に活用する為、製材製品の品質向上を図る取り組みへの支援、島外への出荷・販路の拡大を支援していくことが必要であるとともに、原木の集積場（土場）の有効利用も必要となっている。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

　林業についても、他の産業と同じく担い手不足や物価高騰、そして原木価格の低迷に悩まされていると認識をしています。機械化等の生産性の向上による担い手不足への対応や、低コスト化のための施設整備は、必要不可欠な事業であると考えます。
　また、新たな林業振興策であるペレット発電事業や、更なる里山保全のため、森林環境譲与税を活用した取組にも期待します。あわせて、生業としてだけでなく、私たちの生活と深くかかわる森林の多面的機能の重要性を再認識し、町民が森林の価値に目を向けるための啓発が必要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

森林整備等に必要な財源確保の目的で創設された森林環境譲与税は、段階的に引き上げられており、全国的に新たな取り組み・支援策等に活用が進んいる。本町においてもこれまでの取組に加えて、更なる森林整備等に関する取組を推進していくこととしたい。
特に各種支援策については、対象事業の拡充や補助要綱の見直しが必要となっているため、必要に応じて対応していくこととする。
また、本年度から森林経営管理制度の活用が始まっており、島根県や島根県森林協会等の関係機関と連携しながら制度の活用を進めたい。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業振興事業	担当	農林水産課 農林振興係	整理番号	農-10

5.年度別計画

令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容（Plan）				
緑の担い手協調助成金 480 千円	緑の担い手協調助成金 480 千円	緑の担い手協調助成金 480 千円	緑の担い手協調助成金 480 千円	緑の担い手協調助成金 480 千円
間伐材搬出助成補助金　850㎥ 150 千円	間伐材搬出助成補助金　850㎥ 150 千円	間伐材搬出助成補助金　850㎥ 150 千円	間伐材搬出助成補助金　850㎥ 150 千円	間伐材搬出助成補助金　850㎥ 1,510 千円
育林支援事業補助金　100ha 3,500 千円	育林支援事業補助金　100ha 3,500 千円	育林支援事業補助金　100ha 3,500 千円	育林支援事業補助金　100ha 3,500 千円	育林支援事業補助金　100ha 3,500 千円
林内路網整備事業　3,000m 3,000 千円	林内路網整備事業　6,000m 6,000 千円	林内路網整備事業　6,000m 6,000 千円	林内路網整備事業　6,000m 6,000 千円	林内路網整備事業　6,000m 6,000 千円
町産材木造住宅づくり支援補助金　28件 14,400 千円	町産材木造住宅づくり支援補助金　28件 14,400 千円	町産材木造住宅づくり支援補助金　28件 14,400 千円	町産材木造住宅づくり支援補助金　28件 14,400 千円	町産材木造住宅づくり支援補助金　28件 14,400 千円
椎茸生産拡大事業補助金 373 千円	椎茸生産拡大事業補助金 373 千円	椎茸生産拡大事業補助金 373 千円	椎茸生産拡大事業補助金 373 千円	椎茸生産拡大事業補助金 373 千円
ペレット原木搬出補助金 2,550 千円	ペレット原木搬出補助金 4,889 千円	ペレット原木搬出補助金 4,889 千円	ペレット原木搬出補助金 4,889 千円	ペレット原木搬出補助金 4,889 千円
（新）新たな森林管理システム推進業務 1,900 千円	新たな森林管理システム推進業務 2,500 千円	新たな森林管理システム推進業務 2,500 千円	新たな森林管理システム推進業務 2,500 千円	新たな森林管理システム推進業務 2,500 千円
千円	高性能林業機械導入補助金 林業機械　1機 6,350 千円	高性能林業機械導入補助金 林業機械　2機 17,700 千円	高性能林業機械導入補助金 林業機械　1機 6,250 千円	高性能林業機械導入補助金 林業機械　1機 7,500 千円
（新）林業総合センター設備更新事業 下水道接続 2,700 千円	林業総合センター設備更新事業 照明器具更新（ＬＥＤ省電力化） 3,215 千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円

	令和　6　年度	令和　7　年度	令和　8　年度	令和　9　年度	令和 10 年度
事業費	29,053 千円	41,857 千円	49,992 千円	38,542 千円	41,152 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	14,400 千円	14,400 千円	14,400 千円	14,400 千円	14,400 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	14,653 千円	27,457 千円	35,592 千円	24,142 千円	26,752 千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	多面的機能支払事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-13

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②	多面的機能支払交付金取組活動組織数	20組織（累計）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の各集落で農地守り隊等を組織して、その構成員による共同活動を通じ、地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ることを目的とする。

【事業概要】

対象地域の単位ごとに活動組織を設立し、対象施設（田・畑・草地）ごとの面積に応じて交付金を交付する。（原則5年間継続事業）
〔負担区分：国50%　県：25%　町：25%、推進事務費：国100%（定額）〕
①農地維持支払（農地維持活動：農地の草刈、水路の泥上げ等）
田：3,000 円/10a　畑：2,000 円/10a　草地：250 円/10a
②-1資源向上支払（共同活動：農家以外の人が参加）
田：1,500～円/10a　畑：900円～円/10a　草地：150～円/10a
②-2資源向上支払（長寿命化：施設の補修、更新）
田：4,400 円/10a　畑：2,000 円/10a　草地：400 円/10a

2.令和　5　年度事業実績（Do）

多面的機能支払交付金
農地維持活動　16組織
8,671千円

資源向上（共同活動）　9組織
3,309千円

資源向上（長寿命化）12組織
10,033千円

事務費　24千円

実績額		22,037 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	16,510 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	5,527 千円

実績値				
	①	401t/年	④	
	②	16組織	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

多面的機能支払交付金事業は平成26年度から14組織（取組面積293ha)からスタートし、令和3年度までに16組織（取組面積307ha）が事業に取組んでいる。

【②.事業の課題】

各組織とも構成員の高齢化が進み後継者不足により、事業継続が危惧されているところである。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業は各地域の組織により農地保全活動を行い、集落の担い手不足を組織でカバーするとともに、地域の農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全を行うため、今後とも事業継続が必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

既存の活動組織との連携を図りながら、活動組織の維持・新組織の設立が行えるように本事業を取り組んでいく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	多面的機能支払事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-13

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	農地維持活動 16組織 9,039 千円	農地維持活動 20組織 10,200 千円	農地維持活動 20組織 10,200 千円	農地維持活動 20組織 10,200 千円	農地維持活動 20組織 10,200 千円
	資源向上活動（共同活動） 9組織 3,493 千円	資源向上活動（共同活動） 13組織 4,000 千円	資源向上活動（共同活動） 13組織 4,000 千円	資源向上活動（共同活動） 13組織 4,000 千円	資源向上活動（共同活動） 13組織 4,000 千円
	資源向上活動（長寿命化） 8組織 10,566 千円	資源向上活動（長寿命化） 16組織 12,100 千円	資源向上活動（長寿命化） 16組織 12,100 千円	資源向上活動（長寿命化） 16組織 12,100 千円	資源向上活動（長寿命化） 16組織 12,100 千円
	事務費 37 千円	事務費 100 千円	事務費 100 千円	事務費 100 千円	事務費 100 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	23,135 千円	26,400 千円	26,400 千円	26,400 千円	26,400 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	17,323 千円	19,725 千円	19,725 千円	19,725 千円	19,725 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	5,812 千円	6,675 千円	6,675 千円	6,675 千円	6,675 千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②	16組織	20組織	20組織	20組織	20組織
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国庫土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町が事業主体となり、農作業道の舗装及び修繕、農業用施設（水路等）の整備を行うことで、地域農業における草刈りや路面の修繕、水路等の維持管理が軽減され、農業経営の安定化、地域農業の振興と活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

農業基盤整備促進事業
・皆市地区農道舗装事業　L=700m
農地耕作条件改善事業
・八尾川以南地区農道舗装事業　L=1,810m
・南方地区農道舗装事業　L=2,430m
・新田(中村)地区農作業道改良事業　L=600m
・下田地区排水路改修事業　N=1箇所

2.令和　5　年度事業実績（Do）

農地耕作条件改善事業
　新田地区農道改良工事　L=379m
（R4より繰越）
12,210千円
事務費
414千円

農地耕作条件改善事業
　新田地区農道改良工事　L=165m
（R5）
6,105千円
事務費
120千円

実績額		18,849 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	11,200 千円
	起債	7,600 千円
	特定	千円
	一般財源	49 千円

実績値				
	①	401t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

新田（中村）地区農作業道改良事業（令和4年度繰越分、令和5年度分）について令和5年度をもって完了した。

【②.事業の課題】

農地耕作条件改善事業による農業施設整備は、受益地の農地集積・集約の向上が事業採択要件の一つであり、今以上に集積・集約が望めない地区は事業採択が困難である。また、用水路等の改良・更新には受益者負担（事業費の7.5%～10%程度）を伴う場合がある。〔※農地集積・集約とは、地域の中心となる農業経営体（認定農業者等）に農地利用を集中させることである。〕

【③.事業の必要性・今後の方向性】

受益者負担については、一定の要件を満たせば県単農地集積事業の「集落農地集積促進事業」、「水田園芸拠点産地形成促進事業」、「担い手不在集落解消促進事業」において促進費（協力金として受益者へ交付する。）の活用が可能であるので農家の自己負担が軽減され、農業経営の安定化や農業振興の活性化を図れる。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

農地集積・集約が推進するように農林振興係の事業と連携して、取り組んでいく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国庫土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-14

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	下田地区排水路改修測量設計業務 1式	下田地区排水路改修工事 1式			
	6,000 千円	16,000 千円	千円	千円	千円
	事務費	事務費			
	120 千円	150 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	6,120 千円	16,150 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	3,500 千円	10,500 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	2,600 千円	5,600 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	20 千円	50 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年			
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-15

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 6　項 1　目 5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の農業用施設・水利施設において、地元要望を踏まえ老朽化した比較的小規模な施設の補修・更新等の整備を実施する。また、大雨等により被災を受けた農業用施設の簡易な復旧工事等も行い営農活動の維持を図ることを目的とする。

【事業概要】

土地改良用排水路維持補修事業
・既設排水路の土砂撤去及び、水路等の補修・更新を行う。
農業施設維持管理事業
・農道の維持補修、農村公園の維持管理のための補修・更新を行う。
農業団地整備事業
・遊休農地の再整備を行い、農外企業の参入、新規就農者の育成、認定農業者への貸付等を行い荒廃した農地を有効利用する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

町単土地改良事業
東郷農村公園公衆トイレ
廃止工事　1式
192千円
小路2号農道舗装工事　1式
1,260千円
南北地区公衆トイレ
下水道接続工事　1式
385千円
蛸木地区他用水路修繕工事　1式
481千円
那久地区用水路修繕工事　1式
715千円
平地区用水路修繕工事　1式
528千円
久見8号農道土砂撤去工事　1式
550千円

実績額		4,111 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	4,111 千円

実績値				
	①	401t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

老朽化した農業用施設の補修・改修等を行うことにより、農業経営者の維持管理に係る負担軽減を図り、農地の減少を防ぎ地域農業の活性化に繋がった。
農業団地整備事業は平成30年度に今津一本松地区において土地状況調査及び生産者との協議を行った。

【②.事業の課題】

農林水産業を取り巻く情勢は、担い手不足、農林水産物価格の低迷など様々な課題に直面している。
また、町内の農業用施設の老朽化が進んでおり、その修繕・更新を行うにあたり緊急性や地域性を考慮したうえで計画的に行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

小規模な農業用施設の修繕・更新は、営農活動の維持を図るうえで重要であり、今後も継続して行う必要がある。
農業団地整備事業において、企業参入による新規雇用者の確保、新規就農の促進、認定農業者等への高収益作物転換支援を必要性がある。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　**令和４年度評価済**

本事業は、持続可能な農業経営の推進に必要な事業であると考えます。施設の老朽化や、担い手不足など、課題も多々ありますが、地区や関係団体と協議を重ね、確実な整備の実施を願います。また、近年頻発する豪雨災害等による農地の被災は、経営に影響を及ぼすため、迅速な対応に尽力して下さい。

4.改善・見直し（Action）

町内には老朽化した農業用施設が多数あり、その修繕・更新については現地調査や地区との協議により緊急性や地域性を考慮し行っていく。
農業団地整備事業は事業の実施体制や団地整備後の利用者を検討しておく必要があるため、事業展開を再検討する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-15

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農業施設維持補修工事（町内全域） 3,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-16

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

農業を支援するため、水田で必要な農業用水を確保すためのため池、営農条件を改善するための水田、畑の整備、農産物などを運搬するための農業用道路の整備、農村の環境整備などを県営による農業農村整備事業を行い、農業経営の安定化、地域農業の振興と活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

県営土地改良事業【負担金】（島根県が施行する事業である。）
・農村地域防災減災事業（ため池）〔島後〕【町負担率：6%】
　ため池改修　2箇所（田部谷･常集平）
・農村地域防災減災事業（ため池整備）【町負担率：6%】
　ため池整備　6箇所（金剛寺･北向･床山･石坂･岳野・亀の原・湊）
・水利施設保全高度化事業（簡易整備型）【町負担率：17.5%】
　都万排水樋門更新（電動化）　1箇所
・地域防災機能増進事業【町負担率：11%】
　屋那大橋耐震補強･補修　1式

2.令和　5　年度事業実績（Do）

県営土地改良事業【負担金】
・県営農村地域防災減災事業
　西郷大橋整備（港町）
　　8,718千円×10%=　872千円
　金剛寺ため池改修（久見）
　　160,000千円×6%=9,600千円
　床山ため池改修（山田）
　　40,400千円×6%=2,424千円
　北向ため池改修（加茂）
　　600千円×6%=36千円

実績額		12,932 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	11,600 千円
	特定	千円
	一般財源	1,332 千円

実績値				
	①	401t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

西郷大橋整備においては、令和5年度をもって事業完了した。金剛寺ため池改修について令和3年度より事業着手し、令和7年度に完了予定。また、令和6年度には岳野ため池が事業着手した。

【②.事業の課題】

令和6年度は、4箇所のため池整備を予定しているが、工事期間中（2～3年程度）は、ため池に貯水できないため、耕作期間中の水利の確保が課題となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

ため池の改修事業には多大な事業費を要することから、本事業を県営で行うことは町財政にとって有利であるとともに、これらの農業用施設の整備を行うことにより営農活動の振興と活性化を図れることから、今後も引続き必要な事業である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

工事期間中も耕作に影響が出ないように、島根県との協議を重ね工事時期を考慮して行なう。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営土地改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-16

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	農村地域防災減災事業（ため池）〔金剛寺〕負担金 2,700 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔金剛寺〕負担金 6,720 千円	千円	千円	千円
	農村地域防災減災事業（ため池）〔床山〕負担金 4,500 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔床山〕負担金 5,400 千円	千円	千円	千円
	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕負担金 90 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕負担金 60 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕負担金 6,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕 12,000 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔北向〕 5,400 千円
	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕負担金 3,600 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕負担金 4,200 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕負担金 4,200 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔岳野〕 4,800 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔亀の原〕 3,000 千円
	千円	農業農村整備事業等調査〔石坂〕負担金 1,000 千円	農業農村整備事業等調査〔石坂〕負担金 1,200 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔石坂〕 1,980 千円	農村地域防災減災事業（ため池）〔石坂〕 5,400 千円
	千円	千円	調査計画事業〔屋那大橋〕負担金 1,500 千円	調査計画事業〔屋那大橋〕負担金 5,500 千円	地域防災機能増進事業〔屋那大橋〕負担金 5,500 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	10,890 千円	17,380 千円	12,900 千円	24,280 千円	19,300 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	9,800 千円	14,700 千円	10,200 千円	21,800 千円	17,400 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,090 千円	2,680 千円	2,700 千円	2,480 千円	1,900 千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年	476t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-17

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち						
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます						
重点施策							
関連計画							
予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

土地改良施設の整備補修は、本来土地改良区等の施設の管理者自らが行うべきものだが、農村地域の都市化・混住化の進展等社会的経済的諸条件の変化に伴い、土地改良施設の公共公益的機能が益々増大している。公的助成措置を講ずることにより、土地改良区等施設管理者の負担減を図るとともに、施設の機能の保持と耐用年数の確保を目的とする。

【事業概要】

土地改良区等による土地改良施設整備補修のための土地改良施設維持管理適正化資金を利用して土地改良施設の定期的な整備補修を行うものである。

○既設揚水機場のポンプのオーバーホール

- 五箇南北右岸揚水機　7,500千円
- 五箇南北左岸揚水機　6,500千円
- 都万下田揚水機　7,500千円
- 都万森里揚水機　7,500千円

2.令和　5　年度事業実績（Do）

土地改良施設維持管理適正化事業
南北地区揚水機場整備工事
6,193千円

実績額	6,193 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	5,400 千円
財源内訳 一般財源	793 千円

実績値				
①	401t/年	④	
②		⑤	
③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度は五箇地区南方の南北左岸揚水機オーバーホールを行った。
今後も、引き続き五箇地区、都万地区の老朽化した揚水機のオーバーホールを行っていく予定。

【②.事業の課題】

揚水機等のオーバーホールは10年毎を目安に行ってきたところだが、老朽化により修理する箇所も増えている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

各施設とも供用開始から20年以上経過しており、今後は計画的に更新する必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

土地改良施設維持管理適正化資金を利用して計画的に整備補修を行い、施設の機能を保持していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-17

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)			都万森里揚水機オーバーホール 1箇所		
	千円	千円	7,500 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	7,500 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	7,000 千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	500 千円	千円	千円
目標値 ①			476t/年		
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-18

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の農道橋について点検を実施し、施設の老朽化状況、耐震化の必要の有無などを把握し長寿命化を図ることにより、農業の持続的な発展を図ることを目的とする。

【事業概要】

農道橋橋梁長寿命化対策事業

農道橋梁点検・機能診断	30橋
農道橋梁長寿命化対策工事設計業務	点検結果により随時
農道橋梁長寿命化対策工事	点検結果により随時

2.令和　5　年度事業実績（Do）

農道橋梁長寿命化対策事業

農道橋梁点検業務　5橋

月の下橋・南北橋・西田橋

真杉橋・加治屋橋

2,420千円

実績額		2,420 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	2,000 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	420 千円

実績値				
	①	401t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

前回調査から概ね5年経過した5橋梁について、定期点検を実施した。

【②.事業の課題】

橋梁点検は概ね5年に1回行うこととなっているが、開始時期に偏りがあるため、各年度の事業量の平準化を図る必要がある。

また、橋梁点検で健全度Ⅲ判定以下の橋梁については、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後は、点検結果を踏まえ橋梁の長寿命化の観点から、補修等の整備計画（個別施設計画）を策定し、その計画に基づき修繕・更新を行い、コストの平準化を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

点検結果により、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定し、事業を実施していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-18

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	農道橋梁点検業務（補助）　2橋 屋那大橋 大谷橋 3,300 千円 農道橋梁点検業務（単独）　8橋 栗原橋他 2,800 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 農道橋梁点検業務（単独）　12橋 杉淵橋他 6,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	農道橋梁点検業務（補助）　3橋 西郷大橋 西郷大橋取付1号橋 西郷大橋取付2号橋 2,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	6,100 千円	6,000 千円	千円	2,000 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	2,200 千円	2,500 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	3,900 千円	3,500 千円	千円	2,000 千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年		476t/年	
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-19

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	1	目	5

指標		令和6年度目標値
①	米の出荷量（KPI）	476t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

ため池の防災安全度の向上を図るために行う管理施設等の整備や、農業水利施設のきめ細やかな長寿命化対策（防災減災対策）を行うことにより、農地や農業用施設を健全な状態に保ち、農業の持続的な発展を図ることを目的とする。

【事業概要】

農業水路等長寿命化･防災減災事業〔非公共事業〕
・ため池防災環境整備（地域防災上のﾘｽｸ除去）〔補助率：国100%〕
　ため池廃止（愛宕山・中の奥・小浦・灘・小丸ため池）　5池
・ため池防災環境整備（緊急的な防災対策）〔補助率：国100%〕
　ため池補修（西の山ため池）　1池
・防災減災対策（ため池整備）〔国60%・県28%・町12%〕
　ため池整備（損畑ため池・代ため池）　2池
・長寿命化対策（水利施設整備）〔国55%・県15%・町30%〕
　水利施設整備（都万地区用水路）　L=250m

2.令和　5　年度事業実績（Do）

ため池防災環境整備
　西の山ため池改修工事　1式
（令和4年度より繰越）
　5,610千円
（令和5年度）
　2,121千円

都万地区用水路改修工事
（令和4年度より繰越）　30m
　638千円

（令和5年度）　152m
　3,025千円

損畑ため池補修工事　1式
（令和5年度）　4,582千円

事務費
　120千円

実績額		16,096 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	12,990 千円
	起債	千円
	特定	360 千円
	一般財源	2,746 千円

実績値				
	①	401t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和2年度までに、愛宕山・中の奥・小浦・小丸4のため池について完了した。
令和5年度は、西の山ため池、都万地区用水路及び損畑ため池の改修工事を完了した。

【②.事業の課題】

ため池補修工事及び水利施設整備において、施設の使用が不要となる秋以降の着手となり、工期設定に制約があるため早期の発注が求められる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町内のため池や用水路などの農業用施設は老朽化が進んでおり、今後計画的に更新を進めていく必要がある。
また、防災上の観点からも、老朽化したため池への対策が必要となってくるため必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

島根県が実施する農村地域防災減災事業と重複するため池もあることから、県と綿密な協議を進め、事業を実施する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-19

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	灘ため池廃止工事　1式 7,300 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	代ため池浚渫測量設計　1式 8,000 千円	代ため池浚渫工事　1式 7,000 千円	千円	千円
	千円	農業用水利施設機能保全計画更新業務 4箇所 20,000 千円	農業用水利施設機能保全計画更新業務 5箇所 25,000 千円	千円	千円
	千円	事務費 800 千円	事務費 800 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	7,300 千円	28,800 千円	32,800 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	7,000 千円	27,040 千円	31,160 千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	300 千円	1,760 千円	1,640 千円	千円	千円
目標値 ①	476t/年	476t/年	476t/年		
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-20

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐の島町の林道は、島根県平均と比較しても高い整備率であり、現在までに町内で80路線を有している。

本事業ではそれら各路線の維持管理を行い安全施設等を設置し、利用者の利便性の向上を図るとともに、安全性の確保を目的とする。

【事業概要】

隠岐の島町の管理する林道において、主に維持管理に関する工事等を行う事業である。

・林道保全〔舗装修繕･更新〕事業
・林道交通安全施設設置事業
・林道維持管理補修事業
・林道側溝清掃事業
・林道除草業務委託

2.令和　5　年度事業実績（Do）

町単林道事業
林道北谷線伐採工事
143千円
林道西ノ浦線他交通安全施設工事
473千円
林道西ノ浦線側溝清掃工事
671千円
林道南谷線土砂撤去修繕工事等
704千円
林道除草業務（9路線）
2,993千円
事務費
1,936千円

実績額		6,920 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	6,920 千円

実績値				
	①	17,916㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度は4路線について維持補修及び交通安全施設設置の工事を行い、利用頻度の高い9路線について業務委託により除草を行った。

【②.事業の課題】

管理する路線数が多いため、維持管理工事を行う路線の優先順位付けに配慮が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

引き続き林道を維持管理するために、必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和６年度評価済

町単道路改良事業と同様に、本事業も維持管理路線として必要な事業と認識しています。

林道事業は、林業振興、林業関係者にとって必要不可欠であるとともに、治山機能の回復、維持及び一般町民の生活道や観光資源としての役割も担っています。引き続き優先順位や緊急性に配慮した計画的な整備を望みます。

4.改善・見直し（Action）

利用頻度の高い路線から優先して維持管理業務を行う。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町単林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-20

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円	林道維持管理工事〔町内全域〕 1,000 千円
	林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円	林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円	林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円	林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円	林道側溝清掃工事〔町内全域〕 500 千円
	林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円	林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円	林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円	林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円	林道交通安全施設設置工事〔町内全域〕 500 千円
	林道南谷線除草業務 1,000 千円	林道南谷線除草業務 1,000 千円	林道南谷線除草業務 1,000 千円	林道南谷線除草業務 1,000 千円	林道南谷線除草業務 1,000 千円
	林道除草業務〔町内全域〕 800 千円	林道除草業務〔町内全域〕 800 千円	林道除草業務〔町内全域〕 800 千円	林道除草業務〔町内全域〕 800 千円	林道除草業務〔町内全域〕 800 千円
	林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円	林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円	林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円	林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円	林道施設管理委託業務〔他区団体〕 1,200 千円
	林道後岳線改良測量設計業務　1式 13,000 千円	林道後岳線改良工事　L=120m 40,000 千円	事務費 1,200 千円	事務費 1,200 千円	事務費 1,200 千円
	事務費 1,294 千円	事務費 1,200 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	19,294 千円	46,200 千円	6,200 千円	6,200 千円	6,200 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	13,000 千円	40,000 千円	千円	千円	千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	6,294 千円	6,200 千円	6,200 千円	6,200 千円	6,200 千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-21

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

林道上ヶ床線は、林道南谷線と林道一の坂大時線を結ぶ林道であり、森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、以て森林環境の保全をするもので、森林整備の基盤となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道の整備を行うことを目的とする。

【事業概要】

県営林道開設事業（農山漁村地域整備交付金）
路　線　名　：上ヶ床線（森林管理道2級）
事　業　期　間：平成6年～令和16年
全体計画延長：L=11,800m
全体事業費　：3,173,600千円（※令和5年度まで）
※島根県が施行する事業である。
【※町負担額は事業費の10%】

2.令和　5　年度事業実績（Do）

県営林道上ヶ床線開設事業
【負担金】
80,000千円×10%負担=8,000千円
令和5年開設延長　L=320m

実績額		8,000 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起　債	8,000 千円
	特　定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	17,916㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成6年度から令和4年度までに、全体11,800mのうち6,150m、令和5年度に320mの開設工事を行ない、残り約5,330m区間も順次開設工事を行う予定である。

【②.事業の課題】

事業開始から概ね30年経過したが、開設延長は約半分の状態である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

上ヶ床線のように延長が長い林道の開設は多大な事業費を必要とし、それを県営事業で行うことは町財政にとっても有利であることから、今後も引続き必要な事業である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

今後も継続して全線開通を目指し実施する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	県営林道事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-21

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	県営林道上ケ床線開設事業負担金 10,000 千円	県営林道上ケ床線開設事業負担金 10,000 千円	県営林道上ケ床線開設事業負担金 10,000 千円	県営林道上ケ床線開設事業負担金 10,000 千円	県営林道上ケ床線開設事業負担金 10,000 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
県補助	千円	千円	千円	千円	千円
起債	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
特定	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業専用道開設事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-22

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

木材輸送路確保を目的とする林業専用道を開設し、森林施業に際し開設を予定する森林作業道と併せた路網構築を行うことにより、林業機械の稼働環境を整え木材生産性の向上を目指すことを目的とする。

【事業概要】

林業専用道開設事業

【布施地内】

事業期間：平成29年度～令和16年度（総事業費：496,000千円）

林道北谷岩山線　開設延長L=3,100m（道路幅=3.5m）

2.令和　5　年度事業実績（Do）

林業専用道開設事業

【令和5年度より繰越】

北谷岩山線開設5期工事

L=232m

31,348千円

実績額	31,348 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	16,500 千円
財源内訳 起債	14,800 千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	48 千円

実績値				
①	17,916㎥/年	④	
②		⑤	
③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年度より工事に着手し令和4年度までに約811m開設が完了した。今後も引き続き事業を進め令和16年度には全線開通予定である。

【②.事業の課題】

島内土木業者の高齢化に伴う人材不足と、県内の交付金の割当ての減少により年間に進められる事業量が限られてきており、事業の長期化が懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

林業振興を図っていくためにも、今後も引続き必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

国に対し決定前着手等の制度を利用し、早期の工事発注を行い、早期の事業完了を目指す。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林業専用道開設事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-22

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	北谷岩山線開設5期工事　L=200m 30,500 千円 事務費 878 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	北谷岩山線開設6期工事　L=200m 31,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	北谷岩山線開設7期工事　L=200m 31,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	北谷岩山線開設8期工事　L=200m 31,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	北谷岩山線開設9期工事　L=200m 31,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	31,378 千円	32,000 千円	32,000 千円	32,000 千円	32,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	16,500 千円	16,500 千円	16,500 千円	16,500 千円	16,500 千円
財源内訳 起債	14,800 千円	15,500 千円	15,500 千円	15,500 千円	15,500 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	78 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-23

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町内の林道施設内橋梁は約60橋あり、全体的な老朽化が進んでいるところである。今後の対策として橋梁施設の点検や補修を行っていく必要があり、林道施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化及び縮減を目指すことを目的とする。

【事業概要】

林道橋梁長寿命化対策事業
　林道橋梁点検・機能診断　62橋
　林道橋梁補修　9橋

2.令和　5　年度事業実績（Do）

林道橋梁長寿命化対策事業
　林道橋梁点検調査業務
　　7,836千円
　事務費
　　524千円

実績額	8,360 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	3,900 千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	4,460 千円

実績値				
①	17,916㎥/年	④	
②		⑤	
③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年度から令和2年度にかけて橋梁点検を行った62橋について、前回調査から概ね5年経過した橋梁について、定期点検を実施する。
また、点検で健全度Ⅲ判定以下であった9橋について随時、橋梁補修工事を行う。

【②.事業の課題】

橋梁点検は概ね5年に1回行うこととなっているが、開始時期に偏りがあるため、各年度の事業量の平準化を図る必要がある。
また、橋梁点検で健全度Ⅲ判定以下の橋梁については、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定する必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後は、点検結果を踏まえ橋梁の長寿命化の観点から、補修等の整備計画（個別施設計画）を策定し、その計画に基づき修繕・更新を行い、コストの平準化を図る。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

点検結果により、老朽化状況・緊急度・橋の重要性を踏まえ、補修時期・補修工法を決定し、事業を実施していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道橋梁長寿命化対策事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-23

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	林道橋梁点検業務　13橋 9,360 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 12,600 千円 千円 事務費 199 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 30,000 千円 林道橋梁補修工事　3橋 35,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 21,000 千円 林道橋梁補修工事　3橋 50,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 林道橋梁補修実施設計業務　3橋 21,000 千円 林道橋梁補修工事　3橋 30,000 千円 事務費 1,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	林道橋梁点検業務　13橋 9,100 千円 千円 千円 事務費 250 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	22,159 千円	75,100 千円	81,100 千円	61,100 千円	9,350 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	10,550 千円	41,305 千円	48,150 千円	32,000 千円	4,550 千円
財源内訳 起債	6,700 千円	6,000 千円	32,900 千円	29,100 千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	4,909 千円	27,795 千円	50 千円	千円	4,800 千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-24

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち						
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます						
重点施策							
関連計画							
予算区分	一般会計	款	6	項	2	目	3

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

林道の機能向上のために未舗装道路を舗装し、また林道法面で崩壊の危険性のある個所に対し法面対策等の改良を行い、利用対象となる地域内の人家、または公共施設に対する環境改善、及び林業従事者の就業環境の改善を図ることを目的とする。

【事業概要】

林道改良事業（農山漁村地域整備交付金）
・林道南谷線法面改良事業〔負担区分：国50%　県5%　町45%〕
　林道南谷線（布施地内）　法面改良面積=1,000㎡
・林道寺山線舗装改良事業〔負担区分：国1/3　県5%　町62%〕
　林道寺山線（都万地内）　舗装延長=3,100m（道路幅員=4.0m）

2.令和　5　年度事業実績（Do）

林道改良事業
　林道寺山線舗装工事　L=370m
　　14,409千円
　事務費
　　505千円

実績額		14,914 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	5,405 千円
	起債	9,500 千円
	特定	千円
	一般財源	9 千円

実績値				
	①	17,916㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和4年度より事業着手し、林道寺山線の舗装を759m実施した。令和6年度は林道南谷線の法面改良を実施。令和7年度以降も引き続き寺山線の舗装を行う予定である。

【②.事業の課題】

林道の機能向上のために未舗装の林道を舗装し、また林道法面で崩壊の危険性がある個所に対し法面対策等の改良を行なう必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

林道路線内では法面からの落石が多く、崩壊の危険性のある箇所については安全対策工事を行う必要がある。また未舗装の林道を舗装することにより公共施設の環境改善、維持管理の低減にも繋がる。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

令和4年度より林道寺山線の舗装改良工事を実施しており、令和11年度に事業完了予定である。

令和7年度より林道寺山線舗装改良事業を再開予定である。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	林道改良事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-24

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	林道南谷線法面改良測量設計業務 1式 8,500 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円	林道寺山線舗装工事　L=500m 14,500 千円
	林道南谷線法面改良工事 A=1,000㎡ 42,500 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	事務費 654 千円	事務費 400 千円	事務費 400 千円	事務費 400 千円	事務費 400 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	51,654 千円	14,900 千円	14,900 千円	14,900 千円	14,900 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	27,500 千円	5,300 千円	5,300 千円	5,300 千円	5,300 千円
財源内訳 起債	24,100 千円	9,600 千円	9,600 千円	9,600 千円	9,600 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	54 千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年	20,000㎥/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港・海岸施設長寿命化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-25

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

漁港及び漁港海岸施設の点検・機能診断調査を行い、機能保全計画（漁港施設）及び、長寿命化計画（海岸施設）の策定を行いその結果を踏まえ、既存施設の更新コストの平準化・縮減を図ることを目的とする。

【事業概要】

漁港施設機能増進事業〔漁港〕
・機能増進基本計画の策定・工事　久見漁港
・保全工事の実施
海岸堤防等老朽化対策事業〔海岸〕
・海岸長寿命化計画の策定　7海岸
（大久・箕浦・都万・那久・油井・久見・布施）
・老朽化対策工事の実施

2.令和　5　年度事業実績（Do）

漁港・海岸施設長寿命化事業
　海岸堤防等老朽化対策事業
　　那久漁港海岸
　　川口突堤改良工事　L=10.5m
　　50,600千円
　　那久漁港海岸
　　川口突堤改良工事積算業務
　　1,287千円
　　那久漁港
　　標識灯設置工事　N=1基
　　滑り材　L=103.45m
　　6,069千円
　　事務費
　　669千円

実績額	58,625 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	26,840 千円
財源内訳 起債	31,700 千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	85 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

漁港施設については平成28年度までに各漁港において機能保全計画の策定を終え、その計画に基づき保全工事を行った。海岸施設については令和元年度までに油井･都万･大久海岸の長寿命化計画の策定を終え、令和4年度は那久漁港の川口突堤改良工事を行い、令和5年度に完了した。久見漁港において機能増進計画を策定し令和6年～令和7年にかけて泊地の浚渫を行う。

【②.事業の課題】

漁港施設及び海岸施設とも整備後の老朽化により、対策工事を必要とする施設が増加している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も、漁港機能保全計画及び、海岸長寿命化計画に基づき工事を実施する。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

計画に基づき事業を実施していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港・海岸施設長寿命化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-25

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	漁港施設機能増進事業 久見漁港泊地浚渫工事　1式 73,460 千円 久見漁港施設付帯工事 12,000 千円 事務費 1,615 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	漁港施設機能増進事業 久見漁港泊地浚渫工事　1式 36,000 千円 久見漁港施設付帯工事 12,000 千円 事務費 720 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	87,075 千円	48,720 千円	千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	50,160 千円	28,800 千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	36,900 千円	19,900 千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	15 千円	20 千円	千円	千円	千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年		
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村地区集落環境整備事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-26

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

中村地区は、背後の急峻な山と海に挟まれた漁村集落で、集落内道路の幅員狭小、消防水利等の不足、家屋背後の急傾斜対策が未実施等の問題から、防災機能が脆弱である。これらの問題を解消し、安全で快適な漁村環境の形成を図ることを目的とする。

【事業概要】

漁業集落環境整備事業（農山漁村地域整備交付金）
漁業集落排水施設（事業費：50,000千円）
・雨水排水路整備　整備延長=70m
漁業集落道（事業費：240,000千円）
・西村地区集落道整備　整備延長=440m
・中村地区集落道整備　整備延長=510m
防災安全施設（49,000千円）
・防犯灯　5基　・防火水槽　2基　・消火栓　10基

2.令和　5　年度事業実績（Do）

中村地区集落環境整備事業
中村地区集落道改良工事 L=200m
25,978千円
集落道改良工事積算業務　1式
2,090千円
西村地区補償調査業務　1式
8,488千円

【令和6年度へ繰越】
防火水槽設置工事L=200m
12,400千円
防火水槽設置工事積算業務　1式
2,090千円
中村地区集落道整備
土地購入費
1,200千円
補償金
200千円
事務費
800千円

実績額		36,556 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	16,655 千円
	起債	19,900 千円
	特定	千円
	一般財源	1 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度は集落道整備事業において集落道改良工事、補償調査業務を実施したが、防火水槽設置工事と、集落道改良に伴う土地購入費・補償金・登記手数料を令和6年度へ繰越した。

当該事業は上下水道課（水産飲雑用水・漁業集落排水施設〔汚水〕）と共同に行っている事業なので、工事施工に伴い、単年度毎に多額の事業費が必要とされるが、交付金事業のため、国費が要望通り配分されていない状態が継続している。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

中村及び西村地区の集落環境を早急に改善するため、事業を推進していく必要がある。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

計画に基づき事業を実施していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	中村地区集落環境整備事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-26

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	防火水槽設置工事　1基 18,800 千円 防犯灯設置工事　2基 2,000 千円 千円 千円 千円 土地購入費 3,000 千円 補償金 4,700 千円 事務費 600 千円 千円 千円 千円 千円	千円 防犯灯設置工事　1基 1,000 千円 漁業集落道改良工事　L=226m 28,500 千円 消火栓設置工事　1基 1,500 千円 千円 土地購入費 3,000 千円 補償金 2,500 千円 事務費 720 千円 千円 千円 千円 千円	千円 防犯灯設置工事　2基 2,000 千円 漁業集落道改良工事　L=90m 12,000 千円 消火栓設置工事　3基 4,500 千円 雨水排水路工事　L=70m 50,000 千円 土地購入費 3,000 千円 補償金 2,000 千円 事務費 500 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 漁業集落道改良工事　L=346m 40,000 千円 消火栓設置工事　3基 4,500 千円 千円 土地購入費 3,000 千円 補償金 2,000 千円 事務費 500 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 消火栓設置工事　3基 4,500 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	29,100 千円	37,220 千円	74,000 千円	50,000 千円	4,500 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	11,250 千円	17,850 千円	36,850 千円	22,250 千円	2,250 千円
財源内訳 起債	17,800 千円	19,300 千円	37,100 千円	27,700 千円	2,200 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	50 千円	70 千円	50 千円	50 千円	50 千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港施設機能強化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-27

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち						
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます						
重点施策							
関連計画							
予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町が管理する漁港施設等の維持修繕、簡易な補修、漁港施設用地の舗装等を行い、漁業従事者への就労環境の安全・安心、水産業の再生・漁村の活性化を図ることを目的とする。

【事業概要】

・漁港施設用地の未舗装分の舗装
・航路安全のための航路標識灯の設置
・その他漁港施設の維持管理工事

2.令和　5　年度事業実績（Do）

漁港施設機能強化事業
蛸木漁村広場公衆トイレ改修工事
2,420千円

実績額	2,420 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	2,420 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度は蛸木漁村広場の公衆トイレを和式から洋式に改良した。このことにより公園利用者の利便性の向上を図ることができた。

施設の老朽化等により、年々維持管理に掛かる費用が増加傾向にある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

漁港施設用地の舗装について、令和3年度をもって全ての漁港において整備済みとなった。今後も地元要望等も踏まえ漁港の維持管理に必要な事業である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

地元要望等を踏まえながら、計画的に実施していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	漁港施設機能強化事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-27

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	布施漁村公園改修工事（遊具等） 500 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 大久漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 犬来漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 箕浦漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 布施漁港標識灯設置工事　1基 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	500 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	500 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円
目標値 ①	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年	570t/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港整備交付金事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-28

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	6	項	3	目	3

指標		令和6年度目標値
①	種苗放流魚の漁獲高（KPI）	570t/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

既存の防波堤・護岸等を嵩上（改良）することにより、波浪時の越波による船舶及び漁具の損失を防ぐとともに、荒天時の港内静穏性、船揚げ作業の改善、就労環境及び港内の安全性向上を目指すことを目的とする。

【事業概要】

港整備交付金事業〔事業期間：令和3年度～令和8年度〕
・油井漁港（蔵田地区）〔事業費：670,000千円〕
　蔵田防波堤（延伸）　整備延長=30ｍ
　蔵田防砂堤（新設）　整備延長=90ｍ
・油井漁港（油井地区）〔事業費：225,000千円〕
　油井沖防波堤（嵩上）　整備延長=60ｍ
・布施漁港（布施地区）〔事業費：214,000千円〕
　布施防波堤（改良）　整備延長=20m

2.令和　5　年度事業実績（Do）

港整備交付金事業
　油井漁港（蔵田地区）
　ケーソン据付工事積算業務　1式
　　2,255千円
　事務費
　　3,779千円
【令和6年度へ繰越】
　油井漁港（蔵田地区）
　ケーソン据付工事　L=30m
　　209,364千円

実績額	6,034 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	1,804 千円
財源内訳 起債	4,200 千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	30 千円

実績値				
	①	205t/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業は漁港と港湾との連携について協議を行い、令和2年度に地域再生計画を策定、令和5年に布施漁港を追加した。
令和5年度は油井漁港（蔵田地区）ケーソン設置工事を実施したが、例年になく海象条件が悪かったことから、令和6年度に繰越した。

港整備交付金事業は、港湾施設及び漁港施設を一体的に整備し、生活環境の向上及び水産振興を図る目的であるので、漁港と港湾かつ本土と離島との連携が必要な事業であることから、他の自治体や国・県との綿密な協議が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

外郭施設を嵩上することにより、風浪時による越波を防ぎ静穏性を確保することで、漁労活動における負担軽減と安全性が向上し、集落の振興が図れるので事業実施は必要である。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

工事実施にあたり、海上作業が主であることから、天候に配慮した発注に努め、適正な工期により年度内完了を目指す。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	港整備交付金事業	担当	農林水産課 農林水産施設係	整理番号	農-28

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	油井漁港（蔵田地区） 漁港施設整備工事　L=30m 202,500 千円	千円	油井漁港（蔵田地区） 防砂堤新設工事　L=90m 205,000 千円	千円	千円
	千円	油井漁港（油井地区） 漁港施設整備工事　L=60m 205,000 千円	千円	千円	千円
	布施漁港漁港施設改良工事 測量設計業務　1式 14,000 千円	布施漁港 漁港施設改良工事（1期）　L=20m 100,000 千円	布施漁港 漁港施設改良工事（2期）　L=20m 100,000 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	事務費 5,200 千円	事務費 4,000 千円	事務費 4,000 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	221,700 千円	309,000 千円	309,000 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	170,560 千円	245,000 千円	245,000 千円	千円	千円
財源内訳 起債	51,100 千円	63,500 千円	63,500 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	40 千円	500 千円	500 千円	千円	千円
目標値 ①	570t/年	① 570t/年	① 570t/年	① 570t/年	① 570t/年
目標値 ②		②	②	②	②
目標値 ③		③	③	③	③
目標値 ④		④	④	④	④
目標値 ⑤		⑤	⑤	⑤	⑤
目標値 ⑥		⑥	⑥	⑥	⑥

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町有林管理事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	1.既存産業の活性化と承継を進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 4

指標		令和6年度目標値
①	原木製材品の島外出荷量（KPI）	20,000㎥/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

町有林の維持管理を行うとともに、未利用資源の活用による循環型産業の育成、新たな雇用の創出、循環する地域経済の推進を図る。

【事業概要】

町有林を対象に1団地10haから15haの人工林を選定し、5年毎に全体の約1/3に当たる面積を伐採し、翌年度から伐採跡地への植栽と植栽後5年間の下刈を実施する

・1団地の事業完了は事業開始から15年後となる。

・平成28年度から事業実施しており、現在5団地の更新伐事業を行っている。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

【令和5年度実績】

町有林管理事業　3,800千円

・下刈：0.22ha

・作業道修繕工事：1,000m

・境界確認、面積確認等

町有林収穫事業

・更新伐：14.29ha
12,744千円

・植栽：3.94ha
6,523千円

・下刈：16.67ha
4,840千円

・作業道開設：500m
1,000千円

搬出間伐事業：1.03ha
550千円

実績額		29,457 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	13,573 千円
	起債	千円
	特定	5,333 千円
	一般財源	10,551 千円

実績値				
	①	17,916㎥/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

第1期は、平成28年度から令和2年度の5年間で合計24.8haの伐採、6,748㎥を搬出した。令和3年度から第2期が始まり、3年間で13.59haの伐採、3,545㎥を搬出し、計画的に施業を実施している。継続した下刈や伐採後の植栽を行うことにより、循環型産業の育成、雇用の創出及び経済の循環に繋がっている。

【②.事業の課題】

計画的に施業を実施しているが、建築用材の需要が減ってきたことにより、搬出量が減少してる、また、引取単価は、コロナ禍前の水準に戻ったものの、今後物価高騰等による影響を受け買取価格の低下につながりかねない。このような状況の中、運営には補助金を活用しても、依然として採算性が厳しい状況が続いている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

大径木の販路拡大も依然厳しい状況が続いているが、多くの町有林は伐期齢を迎えている。引き続き循環型産業の育成及び地域経済の循環を図るには継続は必要である。

なお、現在までの施業地選定は比較的立地条件のよい林道沿い等であり、高性能林業機械を使った施業であったが、今後は、急勾配や深山の未整備地の解消に向け新たな工法を検討する。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

循環型産業の育成、新たな雇用の創出、地域経済の循環を図って行くため、販路の開拓、新たな価値の創造等、今までと違った目線で資源の活用を推進していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	町有林管理事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-3

5.年度別計画

令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
町有林管理事業 3,800 千円	町有林管理事業 3,800 千円	町有林管理事業 3,800 千円	町有林管理事業 3,800 千円	町有林管理事業 3,800 千円
更新伐事業（3.49ha伐採） 12,921 千円	更新伐事業（3.48ha伐採） 9,815 千円	更新伐事業（4.20ha伐採） 12,522 千円	更新伐事業（5.31ha伐採） 12,522 千円	更新伐事業（4.44ha伐採） 13,091 千円
再造林（新植）事業（3.54ha） 5,078 千円	再造林（新植）事業（3.49ha） 6,614 千円	再造林（新植）事業（3.48ha） 6,595 千円	再造林（新植）事業（4.20ha） 7,959 千円	再造林（新植）事業（5.31ha） 10,063 千円
再造林（下刈）事業（8.28ha） 2,664 千円	再造林（下刈）事業（20.16ha） 6,490 千円	再造林（下刈）事業（18.98ha） 6,110 千円	再造林（下刈）事業（19.24ha） 6,193 千円	再造林（下刈）事業（20.21ha） 6,506 千円
間伐事業（2.04ha保育間伐） 3,203 千円	千円	千円	千円	千円
森林作業道開設事業（500m） 1,000 千円	森林作業道開設事業（500m） 1,000 千円	森林作業道開設事業（500m） 1,000 千円	森林作業道開設事業（500m） 1,000 千円	森林作業道開設事業（500m） 1,000 千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
千円	千円	千円	千円	千円
事業費 28,666 千円	事業費 27,719 千円	事業費 30,027 千円	事業費 31,474 千円	事業費 34,460 千円
財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財内訳源 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円	財源内訳 国補助 千円
県補助 14,660 千円	県補助 12,788 千円	県補助 14,197 千円	県補助 15,212 千円	県補助 15,766 千円
起債 千円	起債 千円	起債 千円	起債 千円	起債 千円
特定 5,403 千円	特定 5,424 千円	特定 5,547 千円	特定 5,383 千円	特定 5,752 千円
一般財源 8,603 千円	一般財源 9,507 千円	一般財源 10,283 千円	一般財源 10,879 千円	一般財源 12,942 千円
目標値 ① 20,000㎥/年 ④	目標値 ① 20,000㎥/年 ④	目標値 ① 20,000㎥/年 ④	目標値 ① 20,000㎥/年 ④	目標値 ① 20,000㎥/年 ④
② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤	② ⑤
③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥	③ ⑥

事業内容 (Plan)

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	企業誘致事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.島の特性を活かした新たな産業を育成します
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	島外からの企業誘致数(KPI)	3社
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町においては、町内の高校卒業後、約9割の若者が進学や就職のため島外へ転出している。就職先としても島外が多く、若者が好む仕事の選択肢が少ないことが転出の要因の1つと考えられている。このため、”増やしたい離さない生産年齢人口”をテーマに掲げ、若者にとって魅力のある多様な雇用の場を創出することを目的として、ソフト産業（IT企業等）等の企業誘致に取り組み、産業振興と雇用の創出に取り組む。

【事業概要】

本町の地域課題の解決(人材確保、事業所のDX化の推進及びサポート、業務効率化等)につながる取組を実施している誘致候補企業の掘り起こしを行うほか、世界ジオパークに認定された隠岐の島町の豊かな自然環境と、本土から独立した離島の社会環境を活かしたPR、セールス活動を行い誘致につなげる。
誘致企業に対しては、県、町の助成金制度(投資助成・家賃助成・雇用助成等)による支援を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

事業実績なし
※誘致実績は0社となっているが、令和5年度においては、島外企業の出資による再生エネルギー事業に取り組む企業1社が設立されている。

実績額		千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	0社	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業については、令和5年度に総合振興計画まちづくり重点プロジェクト会議において検討を行い、企業誘致の新たなスキームが提案された。この提案をもとに、令和7年度以降において、地域経済への影響、町内事業者との調整を図りながら、事業化に向けた検討を進める。

【②.事業の課題】

現在、本町には誘致企業が利用できる町所有の貸しオフィス施設は2施設のみとなっているが、近年は民間事業者による施設整備も行われている。これらの施設の有効活用を図りながら、必要に応じて誘致企業のニーズに応じたサテライトオフィスの整備について検討を進める。また、町内事業所の人材不足に拍車をかけることが無いように、意見交換等を十分に行う必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

若年者の町内就職を促進し多様な雇用の場を創出するためには必要な事業であり、西郷港周辺のまちづくり事業等の関連事業との整合性、連携を図りながら効果的な誘致につながるように取り組みを進める。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

若者にとって、魅力のある多様な雇用の場を創出するためには、必要な事業であると考えます。誘致にあたっては、地域経済への影響を十分に見極めるなど、町内事業者と調整の上進めていただきたいと思います。また、西郷港周辺地区整備など庁内各部署が推進する施策との連携を図り、一過性でなく効果的な企業誘致に繋げて頂きたいです。一方で、町内の全業種で人手不足の状況にあります。企業誘致が更なる人手不足に拍車をかけないよう慎重に進めることも必要であると考えます。

4.改善・見直し（Action）

まちづくり重点プロジェクト会議において提案された企業誘致事業の事業スキームの内容をもとに、令和7年度以降の具体的な施策の実施につなげる。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	企業誘致事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-1

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容		企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出	企業立地奨励助成金 投資助成（上限30,000千円） 家賃助成（上限20,000千円） 雇用助成（上限10,000千円） ※助成額は誘致企業決定後に算出
(Plan)	千円	千円	千円	千円	千円
		新）企業誘致促進事業 PR・セールス活動費　600千円 （首都圏、東海、関西方面） 島内視察受入対応費　500千円	企業誘致促進事業 PR・セールス活動費　600千円 （首都圏、東海、関西方面） 島内視察受入対応費　500千円	企業誘致促進事業 PR・セールス活動費　600千円 （首都圏、東海、関西方面） 島内視察受入対応費　500千円	
	千円	1,100 千円	1,100 千円	1,100 千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	1,100 千円	1,100 千円	1,100 千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	1,100 千円	1,100 千円	1,100 千円	千円
目標値 ①	3社	4社	4社	4社	4社
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.島の特性を活かした新たな産業を育成します
重点施策	再生可能エネルギー事業
関連計画	隠岐の島町地球温暖化対策実行計画・バイオマス産業都市構想・緑のコンビナート構想
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 4

指標		令和6年度目標値
①	木質ペレットの製造量（KPI）	1,800t/年
②	再生可能エネルギー発電量（KPI）	4,500kw/年
③	地域資源を活かした産業創出（KPI）	3件
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

2050カーボンニュートラルに向け、町民・行政・事業者が一体となって、地球環境に強い危機感を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを全町的に推進する。

【事業概要】

・住宅用太陽光発電パネル設置、木質ペレット熱利用設備（ペレットストーブ）設置へ助成し、再生可能エネルギーの普及を図る。
・旧空港跡地に設置した大型太陽光発電施設の設置に伴う支援を行う。
・木質ペレット発電事業者に対し、経営状況が安定するまで補助金による支援を行う。
・民間企業と連携した公共施設への太陽光発電設備の導入等、脱炭素移行に伴う支援を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○補助実績
・太陽光パネル　1件　120千円
・蓄電池　4件　280千円
・ペレットストーブ 2件　696千円

実績額		1,096 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	708 千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	388 千円

実績値				
	①	276ｔ/年	④	
	②	5,486kw/年	⑤	
	③	1件	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

再生可能エネルギーの助成事業の状況は、住宅用太陽光発電施設設置は72世帯、約346kw、木質ペレット熱利用設備導入の実績は15世帯、約9ｔである。
その他民間事業者により旧空港跡地大型太陽光発電（3,000kw）、南谷の小水力発電（150kw）、大峰山風力発電1機（1,990kw）が稼働中、今後、油井の小水力発電（150kw）、木質ペレット発電（150kw）が稼働予定である。

【②.事業の課題】

家庭用太陽光発電設備及び蓄電池の導入について、資材の輸送コスト等の影響で本土の自治体に比べ遅れている。（R1～4年度：導入実績なし）

【③.事業の必要性・今後の方向性】

国では「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す」としており、本町でも令和5年度に脱炭素社会へ向けた取組を定めた地球温暖化対策実行計画を策定し、「隠岐の島町ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。今後は、策定計画を基に再生可能エネルギーの地産地消、自給自足を推進する。国の補助金を活用した各種事業を行う。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　令和３年度評価済

世界規模で環境問題が深刻化する中で、木質ペレットによる再生可能エネルギーの取組は理解できます。しかし、木質ペレットの民間導入実績が9世帯、公共施設への設置も容易ではないなど、木質ペレットの普及が進まない状況では町民の理解は得られなくなってしまうと感じます。現在の事業内容で「木質ペレットの製造量」の目標は実現可能なのか、早急に事業内容を改善すべき必要があると考えます。

4.改善・見直し（Action）

今後は令和5年度に策定した隠岐の島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を基に国の補助金を活用しながら取組んでいく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	再生可能エネルギー事業	担当	環境課 エネルギー対策室	整理番号	環-10

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10 年度
事業内容 (Plan)	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 15,000 千円 レジリエンス事業補助金（清掃センター蓄電池） 5,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 30,000 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 29,800 千円 重点対策加速化事業補助金（隠岐病院蓄電池） 20,000 千円 重点対策加速化事業補助金（総合体育館蓄電池） 20,000 千円 重点対策加速化事業補助金（ペレットボイラー設計） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金（隠岐病院EV急速充電器） 10,000 千円 重点対策加速化事業補助金（総合体育館EV急速充電器） 10,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV公用車シェア） 1,849 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 24,000 千円 重点対策加速化事業補助金（役場本庁舎蓄電池） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車購入補助） 13,690 千円 重点対策加速化事業補助金（役場本庁舎EV急速充電器） 10,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV公用車シェア） 1,849 千円 千円 千円	住宅用太陽光発電システム等補助金（太陽光発電 3件、蓄電池 3件） 570 千円 木質ペレット熱利用設備整備補助金（3件） 1,200 千円 木質ペレット発電事業補助金 23,000 千円 重点対策加速化事業補助金（リサイクルセンター蓄電池） 5,000 千円 重点対策加速化事業補助金（隠岐病院ペレットボイラー整備） 95,000 千円 重点対策加速化事業補助金（EV車購入補助） 15,690 千円 重点対策加速化事業補助金（EV公用車シェア） 1,849 千円 千円 千円
事業費	21,770 千円	31,770 千円	98,419 千円	56,309 千円	142,309 千円
財源内訳 国補助	3,333 千円	千円	41,648 千円	13,822 千円	72,755 千円
財源内訳 県補助	780 千円	780 千円	780 千円	780 千円	780 千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	17,657 千円	30,990 千円	55,991 千円	41,707 千円	68,774 千円
目標値 ①	590t/年	1,230t/年	1,230t/年	1,230t/年	1,800t/年
目標値 ②	5,800kw/年	5,810kw/年	5,820kw/年	5,830kw/年	5,840kw/年
目標値 ③	1件/年	1件/年	1件/年	1件/年	1件/年
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	海上交通網維持対策費	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-14

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	住みやすさを実感できるまち
基本施策	4.移住・定住しやすい環境を整えます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 9

指標		令和6年度目標値
①	隠岐航路の利用客数（西郷港の利用客数）（KPI）	300,000人/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

生活交通である航路運賃の低廉化により、離島と本土の格差を是正し、町民の経済的負担の低減を図ることを目的とする。

【事業概要】

町民を対象に、航路旅客運賃助成を行う。
・高速船及びフェリーの運賃をJR運賃並みに助成

2.令和　5　年度事業実績（Do）

航路旅客運賃助成事業助成金
231,855千円
利用者数　117,895人
（参考）前年度　102,683人

一部事務組合負担金
超高速船指定管理料　88,486千円

実績額	320,341 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	180,461 千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	39,568 千円
財源内訳 一般財源	100,312 千円

実績値				
①	249,222人/年	④	
②		⑤	
③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

旅客運賃助成事業を実施することで、町民の経済的負担の軽減を図ることができた。新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなりつつあり、運賃助成対象の延利用客数は、令和4年度に延べ216,965人、令和5年度に延べ249,222人であり、前年度より約32,000人増加した。

【②.事業の課題】

現在は、町民及び準住民（住民に準ずる者：離島留学生の家族等）に対して運賃低廉化事業が適用されているが、本土からの来島者や物資輸送、車両航送料金等について低廉化がなされていない。また、船内がバリアフリー化されていないことなど、障がい者を含む高齢者等の乗客ニーズに対応できていない。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

利便性向上に向けた取り組みを進めていくと共に、制度拡充に向けて国への働きかけを行う。また、令和8年度竣工予定の「フェリーしらしま」の後継船建造費の負担金が、令和6～8年度に計画されている。

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和５年度評価済

離島で暮らす私たちにとって、非常に重要な事業であると認識しています。
また、今後定住人口や交流人口を増加させるためには、利便性の高いダイヤの検討や、船内のバリアフリー化、レインボーJETでの患者輸送など、検討すべき点が数多くあると認識しています。あわせて、本土との格差是正を図るため、我々だけでは解決できない物資輸送費の低廉化や、町民以外の運賃低廉化については、実績等を整理し、引き続き国や関係機関に対し、強固な働きかけをお願いします。

4.改善・見直し（Action）

利便性の高い航路ダイヤの見直し等サービス向上に向け関係機関との連携強化を図る。
運賃低廉化事業の制度拡充に向けて国や関係機関に対する要望活動を引き続き行う。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	海上交通網維持対策費	担当	地域振興課 定住推進係	整理番号	地-14

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	航路旅客運賃助成事業助成金 200,000 千円 一部事務組合負担金 超高速船指定管理料他 112,403 千円 一部事務組合負担金 （新）フェリーしらしま後継船建造 1,301,335 千円 ※一部事務組合負担金は、事務的経費ではあるが計上した 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	航路旅客運賃助成事業助成金 230,000 千円 一部事務組合負担金 超高速船指定管理料他 112,403 千円 一部事務組合負担金 フェリーしらしま後継船建造 1,301,335 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	航路旅客運賃助成事業助成金 230,000 千円 一部事務組合負担金 超高速船指定管理料他 112,403 千円 一部事務組合負担金 フェリーしらしま後継船建造 650,668 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	航路旅客運賃助成事業助成金 230,000 千円 一部事務組合負担金 超高速船指定管理料他 112,403 千円 一部事務組合負担金 フェリーしらしま後継船建造 650,667 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	航路旅客運賃助成事業助成金 230,000 千円 一部事務組合負担金 超高速船指定管理料他 112,403 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	1,613,738 千円	1,643,738 千円	993,071 千円	993,070 千円	342,403 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	155,000 千円	155,000 千円	155,000 千円	155,000 千円	155,000 千円
財源内訳 起債	1,301,300 千円	1,301,300 千円	650,600 千円	650,600 千円	千円
財源内訳 特定	45,000 千円	45,000 千円	45,000 千円	45,000 千円	45,000 千円
財源内訳 一般財源	112,438 千円	142,438 千円	142,471 千円	142,470 千円	142,403 千円
目標値 ①	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	航空機利用促進対策事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	3.ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 2　項 1　目 9

指標		令和6年度目標値
①	隠岐世界ジオパーク空港の乗降者数（KPI）	66,000人/年
②	隠岐世界ジオパーク空港の年間チャーター便数（KPI）	50便/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

隠岐島民の生活路線としての航空路の利便性の向上に努め、隠岐空港の利用者拡大を図るとともに、多種多様な観光資源を活用した集客対策に取り組む。

【事業概要】

・出雲・大阪便は島民の利便性を考慮した取組みを行い、更には令和3年度より有人国境離島地域社会維持交付金を活用した夏季便、チャーター便、冬季便等の観光利用者の需要拡大に取り組む。
・【隠岐⇔出雲】隠岐航空路旅客運賃助成事業については、有人国境離島法による運賃助成金を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

◎隠岐空港利用促進協議会事業
出雲・大阪便利用促進事業
27,736千円
隠岐空港夏季大型便運航推進事業
10,514千円
FDAチャーター便支援事業
24,853千円

乗降者数：出雲便 24,593人/年
大阪便40,035人/年
チャーター便数：33便/年1,956人

◎隠岐航空路旅客運賃助成事業
60,621千円
（隠岐⇔出雲）
島民利用者：13,097人

実績額		123,724 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	89,875 千円
	起債	7,754 千円
	特定	26,095 千円
	一般財源	千円

実績値				
	①	64,598人/年	④	
	②	33便/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

平成30年5月から隠岐～大阪間が通年ジェット化となり、利便性・快適性の向上が図られている。隠岐～出雲間においては有人国境離島法による運賃助成金、令和元年7月より最新機材(48人乗り)に替わり、利用者の増加に繋がり安定した搭乗率を維持している。また、FDAチャーター便就航によって、隠岐の知名度も徐々に上がり、全国から観光客が来島している。令和4年度より、キャッシュバックキャンペーンなどにも取り組んだことにより令和5年度は過去最高の利用者数（搭乗率）となった。

【②.事業の課題】

これまで夏季大型便に特化した事業展開をしてきたが、隠岐～大阪間が通年ジェット化となったことや隠岐～出雲間が生活路線としての需要が増加してきていることもあり、通年で航空機利用の利便性の向上及びビジネスや観光による交流人口を増やし利用促進を図るとともに、隠岐の島町の観光、産業、文化など地域経済の活性化へとつなげていくことを目指し取組む。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

今後も運賃の低廉化を継続し、交通利便性の向上による町民の本土への移動に係る経済的な負担軽減を図っていく。また、隠岐～大阪間だけではなく、隠岐～羽田間の乗継（出雲・大阪）支援の強化など羽田首都圏からの集客促進を図り、安定した利用者の確保に努めるとともに、令和5年度は夏季大型便に替わる夏季複便化運航や生活路線として需要が増加している出雲便の復便化に向けた要望活動を行う。隠岐航空路線の回復後の需要増加に的確に対応し、隠岐航空路線の維持を図っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　**令和３年度評価済**

離島割引により町民の経済的負担が軽減され、町民生活の安定と向上が図られています。今後も継続して運賃の低廉化に取り組み、島民だけでなく、来島者にとっても利用しやすい環境を整えて下さい。
新型コロナウィルス感染症の影響を大きく受けながらも、集客対策を図って取り組んでいることは評価できます。現在の就航の維持は勿論だが、チャーター便、夏季ジェットの利便性の向上にも努め、今後も引き続き観光振興に繋がるように取り組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

令和3年度より有人国境離島地域社会維持交付金を財源に充ており、隠岐空港利用の誘客促進強化を図っていく。
令和5年度は夏季大型便に替わる夏季複便化運航等に向けた要望活動を実施し、航空会社、旅行会社、島内観光関係者との情報共有を密に誘客対策に取り組む。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	航空機利用促進対策事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-2

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 58,800 千円 出雲・大阪便利用促進事業 集客数IN2,400人・OUT500人 IN対策 36,160千円 OUT対策 6,700千円 42,860 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,000人・OUT100人 IN対策 24,240千円 OUT対策 500千円 24,740 千円 隠岐空港夏季大型便運航推進事業 集客数IN 600人・OUT350人 IN対策 9,380千円 OUT対策 4,000千円 13,380 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 60,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 集客数IN3,000人・OUT550人 IN対策 38,400千円 OUT対策 7,000千円 45,400 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,500人・OUT150人 IN対策 30,600千円 OUT対策 800千円 31,400 千円 隠岐空港夏季大型便運航推進事業 集客数IN 600人・OUT350人 IN対策 9,380千円 OUT対策 4,000千円 13,380 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 60,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 集客数IN3,000人・OUT550人 IN対策 38,400千円 OUT対策 7,000千円 45,400 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,500人・OUT150人 IN対策 30,600千円 OUT対策 800千円 31,400 千円 隠岐空港夏季大型便運航推進事業 集客数IN 600人・OUT350人 IN対策 9,380千円 OUT対策 4,000千円 13,380 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 60,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 集客数IN3,000人・OUT550人 IN対策 38,400千円 OUT対策 7,000千円 45,400 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,500人・OUT150人 IN対策 30,600千円 OUT対策 800千円 31,400 千円 隠岐空港夏季大型便運航推進事業 集客数IN 600人・OUT350人 IN対策 9,380千円 OUT対策 4,000千円 13,380 千円 千円 千円 千円 千円	〔航空路運賃低廉化〕 航空路旅客運賃助成事業(隠岐⇔出雲) 60,000 千円 出雲・大阪便利用促進事業 集客数IN3,000人・OUT550人 IN対策 38,400千円 OUT対策 7,000千円 45,400 千円 チャーター便支援事業 集客数IN 2,500人・OUT150人 IN対策 30,600千円 OUT対策 800千円 31,400 千円 隠岐空港夏季大型便運航推進事業 集客数IN 600人・OUT350人 IN対策 9,380千円 OUT対策 4,000千円 13,380 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	139,780 千円	150,180 千円	150,180 千円	150,180 千円	150,180 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	99,650 千円	107,245 千円	107,245 千円	107,245 千円	107,245 千円
財源内訳 起債	11,200 千円	11,800 千円	11,800 千円	11,800 千円	11,800 千円
財源内訳 特定	28,930 千円	31,135 千円	31,135 千円	31,135 千円	31,135 千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
目標値 ①	66,000人/年	66,000人/年	66,500人/年	67,000人/年	67,500人/年
目標値 ②	50便/年	50便/年	50便/年	50便/年	50便/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光総務事務	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-6

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 1

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

本町の観光資源が持つ可能性と魅力を活用し、観光産業の持続・発展を目指す。また、観光関係組織と連携して戦略的に施策を計画・実行し、本町の観光振興を図ることを目的とする。

【事業概要】

観光施策のうち、商品開発（観光コンテンツ造成）担う(一社)隠岐ジオパーク推進機構へ補助金を交付し、本町を含む隠岐圏域への誘客を促し、地域及び経済が持続的に発展していく島を目指し取り組みを行う。また、(一社)隠岐の島町観光協会には、受け地としておもてなし向上、人材育成、案内業務等を担ってもらうため補助金を交付する。その中で観光客の個々のニーズに合わせた対応ができる場としての整備や、伝統芸能を活用したイベント等の運営を行い、文化の継承を目指した取り組みを行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

隠岐の島町観光協会運営費補助金
（人件費9名分・事務費）
38,013千円

地域活性化企業人連携事業負担金
JTB人材を町観光協会へ派遣
(2/3年目)
5,600千円

隠岐ジオパーク推進機構補助金
［滞在型観光促進事業］
・企画乗船券造成事業
28,056千円
・ジオガイド活用事業
2,856千円
・ジオパーク周遊コンテンツ
開発事業
2,938千円

［春季版おき得乗船券］
・春季版おき得乗船券発行事業
1,139千円

実績額		78,602 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	25,709 千円
	起債	7,000 千円
	特定	7,617 千円
	一般財源	38,276 千円

実績値				
	①	111,451人/年	④	3,251百万円/年
	②	73,534人/年	⑤	
	③	130人泊/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

隠岐ジオパーク推進機構においては、隠岐4町村全体の観光振興施策として“ジオパーク周遊コンテンツ開発事業”(R5～新規事業)に取り組み、観光オフシーズンに活用できる観光コンテンツの開発を行った。隠岐の島町観光協会においては、電話や窓口対応などの観光客に直接的に関わる部分だけでなく、民謡イベント・観光牛突きの運営など、来訪者の満足度向上を図る取り組みを展開することができた。

【②.事業の課題】

隠岐ジオパーク推進機構と隠岐の島町観光協会の各々が担う役割を整理すること、両者が連携し補いながら観光振興を行う必要がある。また、昨今需要回復にあるインバウンドへの対応が急務となっており、本町のインバウンドの方針を確認しながら進める必要がある。隠岐の島町観光協会は、観光諸団体・事業者と連携しながら、自主的な事業展開を行い地域経済・文化の振興・発展・向上を図る展開が求められている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

隠岐ジオパーク推進機構では、4町村が連携し施策に取り組むことが出来るよう統括の役割を担い、また、ジオパークを基盤とした観光地域づくりを目指し、取り組みを進める必要がある。隠岐の島町観光協会は、各関係団体との連携に努め、魅力ある観光地としての仕組みづくりを促進し、さらなる自主財源確保を目指す必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和３年度評価済

新型コロナウィルス感染症の影響が大きい中で、隠岐の島町観光協会や隠岐観光協会と連携して観光客の誘致を図ることは重要です。隠岐の島町観光協会や隠岐観光協会の自主事業への支援、自主財源確保を目指すように引き続き働きかける必要があります。

また、観光関連事業者への新型コロナウィルス感染症の影響を把握し、将来に向けた観光施策に取組んで下さい。

4.改善・見直し（Action）

隠岐4島の観光を統括する、(一社)隠岐ジオパーク推進機構を中心に各団体・事業者が連携しながら、隠岐全体の観光地づくり、誘客を図っていく。

隠岐の島町観光協会については、町の観光総合相談窓口としての機能を果たすとともに、おもてなし向上のための人材育成、協会員の資質向上に努めるとともに、観光客のニーズをとらえ細やかなサービスを提供できるよう努めることとする。

上記関係機関とともに、誘客促進・観光客の受入体制確保、また、インバウンド対策に取り組む。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光総務事務	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-6

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和 8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費10人分・事務費） （窓口業務、オペレーター業務 人材育成、観光客のニーズの把握 協会員の資質向上） 51,569 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費10人分・事務費） （窓口業務、オペレーター業務 人材育成、観光客のニーズの把握 協会員の資質向上） 52,083 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費10人分・事務費） （窓口業務、オペレーター業務 人材育成、観光客のニーズの把握 協会員の資質向上） 53,082 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費10人分・事務費） （窓口業務、オペレーター業務 人材育成、観光客のニーズの把握 協会員の資質向上） 53,468 千円	隠岐の島町観光協会運営費補助金 （人件費10人分・事務費） （窓口業務、オペレーター業務 人材育成、観光客のニーズの把握 協会員の資質向上） 54,486 千円
	地域活性化企業人連携事業負担金 JTB人材を町観光協会へ派遣 (3/3年目) 5,600 千円	千円	千円	千円	千円
	隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 ・企画乗船券造成事業 21,142千円 ・ジオガイド活用事業 3,188千円 ・ジオパーク周遊コンテンツ開発事業 1,740千円 26,070 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 〔滞在型観光促進事業〕 42,000 千円
	隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,159 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,160 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,160 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,160 千円	隠岐ジオパーク推進機構補助金 (春季版おき得乗船券) 1,160 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	企業版ふるさと納税推進事業補助金 10,000 千円	千円	千円	千円	千円

	令和　6　年度	令和　7　年度	令和 8　年度	令和　9　年度	令和 10　年度
事業費	94,398 千円	95,243 千円	96,242 千円	96,628 千円	97,646 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	20,204 千円	32,550 千円	32,550 千円	32,550 千円	32,550 千円
財源内訳 起債	51,500 千円	52,000 千円	53,000 千円	53,400 千円	54,400 千円
財源内訳 特定	10,315 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	12,379 千円	10,693 千円	10,692 千円	10,678 千円	10,696 千円
目標値 ①	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	160,000人/年	160,000人/年
目標値 ②	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年
目標値 ③	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年
目標値 ④	2,010百万円/年	2,050百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	7	項	2	目	2

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

観光客を惹きつけ満足いただくための観光メニューを充実するとともに、観光事業を行う団体や事業者への支援を行い、町全体の観光振興を目指す。

【事業概要】

隠岐の伝統文化を活用した観光メニューの充実を図るため、事業者等への支援を行い、伝統文化の継承を目指す。また、観光客の満足度向上と観光消費額の増加を目指すため、宿泊事業者の創業や事業拡大のための補助制度を設け、島内観光業者を支援する。その他にも、隠岐の島町の魅力ある資源を活用したアウトドアアクティビティの充実も図るため、包括連携協定を結んでいる(株)モンベルや関係事業者と協働し取り組んでいく。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

観光牛突き事業
町観光協会補助金：9,609千円
ウルトラマラソン事業
実行委員会補助金：9,000千円
島まつり事業
実行委員会補助金：2,907千円
アクティビティ振興事業：
1,353千円
ジオバス運行事業
運行事業委託料：3,999千円

協力隊活用事業：3,580千円
国際交流員活用事業：4,831千円

雇用拡充事業補助金：3事業者
補助総額：29,924千円

地域一体型高付加価値化事業
1件：60,000千円

宿泊施設立地等促進事業費補助金
補助総額(2業者)：7,767千円

輝けイレブン参加費：564千円
全国闘牛サミット事業：669千円

実績額		134,203 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	58,327 千円
	起債	9,300 千円
	特定	9,405 千円
	一般財源	57,171 千円

実績値				
	①	111,451人/年	④	3,251百万円/年
	②	73,534人/年	⑤	
	③	130人泊/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

島の観光シーズンの幕開けとなるイベント“島まつり”を4年ぶりに開催し、島外からの誘客や観光消費額の増加につながった。島外のイベントにも参加し、観光客の来島を促す取り組みを行うことができた。宿泊施設の整備面においては、雇用拡充補助金や宿泊施設立地等促進事業費補助金を活用し、観光業者（特に宿泊業者）の支援を実施することで、宿泊キャパシティの確保、雇用拡充の成果をあげた。

【②.事業の課題】

観光客の満足度向上、誘客につなげるイベントの実施や補助制度を活用した観光業者への支援（雇用拡充含め）は一定の成果をだせているが、隠岐の島の魅力ある豊かな自然、環境を活かしたアウトドアアクティビティの充実は成果があげれていない状況である。民間の実施する事業との整合性を図りながら、時代のニーズと町の性質にあった計画的な実施が求められている。観光客を呼び込むコンテンツ造成だけでなく、インバウンド（訪日外国人旅行客）に対する案内など、受け入れ体制の整備も必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

既存事業については現状にあったスタイルで行うことを検討するとともに、ニーズにそぐわない事業は廃止する。行政だけでなく、民間を主体とした観光メニューの開発や、観光人材の育成に力を入れ、官民一体となった観光地域づくりが行われるよう事業を進める必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　令和４年度評価済

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客のニーズや嗜好が大きく変化したことは理解します。だからこそ先を見据え、今後どのような需要があるのかをしっかり見極めて下さい。アウトドアツーリズムの需要が高まる中、離島の魅力や、隠岐世界ジオパークについてさらに発信していくべきではないでしょうか。また、民間が主体となった観光メニューの開発や、観光人材の育成が重要となるのではないかと考えます。官民一体となった観光地域づくりが行われ、島が活性化することを期待します。

4.改善・見直し（Action）

観光地として魅力的なメニューの提供や、本町の特徴を活かしたアウトドアアクティビティの充実に向けた取り組みを推進し、観光客の増加・満足度向上を目指す。
ウルトラマラソンや島まつりなどの定着している既存イベント事業については、より効果を上げるために何が必要かを検討し事業展開を図る。
また、宿泊事業者向けの補助制度を効果的に活用し、創業、事業拡大を促進し、宿泊キャパシティの確保を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

5.年度別計画　令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和 8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan) 観光牛突き事業 支援・開催補助：7,357千円 突き牛導入補助：5,406千円 12,763 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円	観光牛突き事業 支援・開催補助：6,103千円 突き牛導入補助：5,220千円 11,323 千円
ウルトラマラソン事業 9,500 千円	ウルトラマラソン事業 9,000 千円	ウルトラマラソン事業 8,500 千円	ウルトラマラソン事業 8,000 千円	ウルトラマラソン事業 7,500 千円
島まつり事業 4,021 千円	島まつり事業 5,000 千円	島まつり事業 5,000 千円	島まつり事業 5,000 千円	島まつり事業 5,000 千円
千円	アクティビティ振興事業 2,000 千円	アクティビティ振興事業 2,000 千円	アクティビティ振興事業 2,000 千円	アクティビティ振興事業 2,000 千円
ジオバス運行事業(県補助有2/3年目) 3,999 千円	ジオバス運行事業(県補助有3/3年目) 3,999 千円	ジオバス運行事業 3,999 千円	ジオバス運行事業 3,999 千円	ジオバス運行事業 3,999 千円
国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円	国際交流員活用事業 5,300 千円
雇用機会拡充事業補助金 継続(3/5年目)1件：9,000千円 継続(1/5年目)1件：9,000千円 新規(1/3年目)1件：7,645千円 25,645 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(4/5年目)1件：9,000千円 継続(2/5年目)1件：9,000千円 継続(2/3年目)1件：9,000千円 27,000 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(5/5年目)1件：9,000千円 継続(3/5年目)1件：9,000千円 継続(3/3年目)1件：9,000千円 27,000 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(4/5年目)1件：9,000千円 9,000 千円	雇用機会拡充事業補助金 継続(5/5年目)1件：9,000千円 9,000 千円
地域一体型高付加価値化事業 1件：60,000千円 60,000 千円	千円	千円	千円	千円
宿泊立地等促進事業費補助金 2件：2,608千円 2,608 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円	宿泊立地等促進事業費補助金 ※助成額は事業者決定後に算出 千円
観光メニュー造成事業 (寄付金活用事業) 5,000 千円	千円	千円	千円	千円
分散型ホテル事業(1/5年目) 補助金：3,000千円(1件) 3,000 千円	分散型ホテル事業(2/5年目) 補助金：3,000千円(1件) 3,000 千円	分散型ホテル事業(3/5年目) 補助金：3,000千円(1件) 3,000 千円	分散型ホテル事業(4/5年目) 補助金：3,000千円(1件) 3,000 千円	分散型ホテル事業(5/5年目) 補助金：3,000千円(1件) 3,000 千円
全国闘牛サミット事業 1,260 千円	全国闘牛サミット事業 1,260 千円	全国闘牛サミット事業 1,260 千円	全国闘牛サミット事業 1,260 千円	全国闘牛サミット事業 1,260 千円

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

	事業費		133,096 千円			事業費		67,882 千円			事業費		67,382 千円			事業費		48,882 千円			事業費		48,382 千円						
	財源内訳	国補助	千円			財源内訳	国補助	千円			財内訳源	国補助	千円			財源内訳	国補助	千円			財源内訳	国補助	千円						
		県補助	56,738 千円				県補助	26,568 千円				県補助	24,750 千円				県補助	9,750 千円				県補助	9,750 千円						
		起　債	12,700 千円				起　債	11,300 千円				起　債	11,300 千円				起　債	11,300 千円				起　債	11,300 千円						
		特　定	12,774 千円				特　定	千円				特　定	千円				特　定	千円				特　定	千円						
		一般財源	50,884 千円				一般財源	30,014 千円				一般財源	31,332 千円				一般財源	27,832 千円				一般財源	27,332 千円						
	目標値	①	154,300人/年	④	2,010百万円/年	目標値	①	157,100人/年	④	2,050百万円/年	目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年	目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年	目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年				
		②	81,700泊/年	⑤			②	83,300泊/年	⑤			②	84,000泊/年	⑤			②	84,000泊/年	⑤			②	84,000泊/年	⑤						
		③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥						

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光振興事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-7

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-8

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐観光協会調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

交流都市が開催している事業に参加、支援をすることで交流人口の拡大を目指す。また、豊中市学童交流事業の一環として行っている、学童交流軟式野球大会（ござんせCUP）・隠岐の島町選抜チームの豊中市訪問を通じて参加選手、選手保護者及びスタッフ相互間の交友を深める。

【事業概要】

・交流都市へのPR活動参加及びまつり実行委員会への補助金の支出を行う。
・島外から多数の学童野球チームを招聘し相互間の交友、見分を深めるため学童交流軟式野球大会（ござんせCUP）の開催運営、経費への補助を行う。
・本町の学童軟式野球選抜チームが豊中市を訪問し相互交流を通して人材育成や交流人口の拡大を図るためコーチ派遣旅費等に補助を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

都市間交流スポーツ事業開催補助金
1,596千円
ふるさと会支援事業補助金
467千円
第44回世田谷区民まつり実行委員会事業費補助金
284千円
豊中まつり2023実行委員会事業費補助金
445千円

実績額	2,792 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	2,792 千円

実績値				
	①	111,451人/年	④	
	②	73,534人/年	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

交流都市のイベントに参加することで、隠岐の知名度の向上に繋がっている。また、学童交流軟式野球大会の開催に伴い、島外から9チームを招き、選手及び保護者、約260名が来島することにより交流人口拡大のために一定の役割を果たしている。長年に渡り交流を続けてきたことにより現在1名が隠岐高等学校に島留学している。令和5年度には社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」を通じて、豊中市より大学生が来島し、農業体験や町民との意見交換等の交流を図った。令和6年度には豊中市から児童の環境学習ツアーが企画されており、幅広い分野・年齢層での交流に繋がってきている。

【②.事業の課題】

自治体双方での受け入れ体制（行政のみならず住民同士）が整わなければ事業を継続することが難しい。各種交流事業での住民同士の交流を維持すること及び都市間交流についての住民への周知が課題となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

本事業は交流人口・関係人口の拡大のため必要な事業であり、長年、関西・関東圏域での交流を深めており幅広い年齢層での交流に繋がっている。今後は、社会情勢や交流人口拡大に繋がる都市を見極め、文化・教育についても幅広い年齢層・性別での単発ではなく継続できる交流を引続き検討するとともに、これまでの交流が希薄にならないようイベントでのPR活動を行い交流人口・関係人口の拡大につなげる。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和５年度評価済**

自治体間において交流を行うことは、「交流人口・関係人口の拡大」や「地域産品の販路拡大」など、大きな効果が期待できます。現在の野球に特化した交流のみではなく、他分野にわたる交流が必要であると考えます。

本事業は、隠岐の島町と他の地域との「つながり」を広げ、継続させるための事業であるべきではないでしょうか。事業内容を精査し、総合振興計画の将来像に掲げた「つながらぁや、つながぁや」の実現に資する取組を期待します。

4.改善・見直し（Action）

当事業は、学童野球に特化した内容となっているが、学童・中学・大人と長年に渡り住民同士が交流を継続してきたことがきっかけとなり、他の分野（文化・教育）にも広がっている。
継続できる交流については、交流自治体の意向も大事であるため、意見交換しながら進めていく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-8

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円	交流都市へのPR活動事業 400 千円
	OTAフェスタ参加旅費 480 千円	OTAフェスタ参加旅費 480 千円	OTAフェスタ参加旅費 480 千円	OTAフェスタ参加旅費 480 千円	OTAフェスタ参加旅費 480 千円
	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円	豊中まつり参加旅費 400 千円
	学童軟式野球交流事業 1,500 千円	学童軟式野球交流事業 1,750 千円	学童軟式野球交流事業 1,750 千円	学童軟式野球交流事業 1,750 千円	学童軟式野球交流事業 1,750 千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	2,780 千円	3,030 千円	3,030 千円	3,030 千円	3,030 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	2,780 千円	3,030 千円	3,030 千円	3,030 千円	3,030 千円
目標値 ①	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	160,000人/年	160,000人/年
目標値 ②	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国際交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-9

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 2

指標		令和6年度目標値
①	隠岐の島町外国人延泊数（KPI）	3,300人泊/年
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

ポーランド共和国クロトシン市との相撲交流を通じて、隠岐諸島を欧州に広くPRするとともに、隠岐ユネスコ世界ジオパークを活用し、海外からの交流人口拡大を図る。また、ポーランド共和国出身の国際交流員を任用し本町で勤務を行うことで、クロトシン市との交流活動推進を図る。

【事業概要】

・国際交流推進事業業務委託
　クロトシン市との受入・訪問相互交流及び、未来像についての内容協議、会議を実施する。

・JETプログラムコーディネーター活用事業
　ポーランドと本町の文化・教育・習慣などの情報を双方へ紹介し、異文化に対する興味関心を高めるとともに、友好都市との通訳業務を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

国際交流推進事業業務委託
・クロトシン市と「経済交流」をテーマに交流を実施し、町内・県内企業視察を実施
1,895千円

国際交流推進事業（旅費）
クロトシン市からの招待を受け、クロトシン市で開催された「日本フェスティバル」へ来賓として5名出席
1,279千円

JETプログラムコーディネーター任用事業（人件費）
・クロトシン市との連絡・協議の翻訳
・双方の文化・教育・習慣などの情報発進
4,853千円

実績額		8,027 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	750 千円
	一般財源	7,277 千円

実績値				
	①	130人泊/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年は、5月にクロトシン市から経済視察団が来島し、経済交流・文通交流学校への訪問を行ったほか、同年11月には本町からクロトシン市で開催された日本フェスティバルに参加した。これらをきっかけとし、輸出入や技術知識交換等を含む企業間交流を開始することができた。

【②.事業の課題】

相撲が「縁」で始まった交流が8年目を迎え、ビデオレターや文通による交流により徐々に芸術・文化・教育面、更に経済交流へと繋がりつつある。国際交流事業（友好都市クロトシン市との交流）について、広報などにより広く町民へ共有できるよう進めていく必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

友好都市との交流を深めたことにより、文化交流だけでなく、若年者同士の交流や、経済交流など多様な分野へ広がりつつある。本事業は、地域社会や文化の再構築につながる他、産業・経済の活性化も期待され、継続の必要性がある。今後は、大阪万博での友好都市PRや友好都市交流10周年記念を通して、町内外への情報発信による隠岐の島町の知名度向上を目指したPRに取り組む必要がある。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　　令和６年度評価済

本町において、「相撲」をきっかけとした、島唯一の国際的な交流であり、現在は子どもたちの相互交流も積極的に取り組まれている事業と認識しています。
交流8年目を迎えますが、これまでの文化、教育分野のみの交流から、更に経済分野での交流を図るため、地元企業との直接の交流の場を設けてはいかがでしょうか。また、KPI（外国人延泊数）について、目標値に対する実績値が非常に低いため、目標達成に向けた事業の手法、内容の見直しが必要と考えます。

4.改善・見直し（Action）

国を行き交うだけでなく、教育、文化、経済交流について、お互いの利益・メリット・効果に繋がるよう相互協議し事業展開していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	国際交流推進事業	担当	商工観光課 観光交流係	整理番号	商観-9

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	国際交流推進事業 クロトシン市代表団受入(相撲交流) 2,750 千円 JETプログラムコーディネーター任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 万博2025協働出展 3,000 千円 JETプログラムコーディネーター任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 友好都市交流10周年相互交流 3,000 千円 JETプログラムコーディネーター任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 1,500 千円 JETプログラムコーディネーター任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	国際交流推進事業 1,500 千円 JETプログラムコーディネーター任用事業 5,300 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	8,050 千円	8,300 千円	8,300 千円	6,800 千円	6,800 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	2,000 千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	6,050 千円	8,300 千円	8,300 千円	6,800 千円	6,800 千円
目標値 ①	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

観光施設の維持管理をするとともに、安心・安全・快適な観光施設を提供するため、老朽化した施設の計画的な補修・修繕等を行い、観光客が「また来たい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

下記の観光施設について、適正な維持管理、補修、修繕等を行う。

【施設名】

・中村海水浴場・塩浜海水浴場・中村キャンプ場・立木キャンプ場
・隠岐モーモードーム・大久地区公衆トイレ・玉若酢公衆トイレ
・国分寺公衆トイレ・池田共同牛舎・西郷共同牛舎・スカイブリッジ
・ジオパーク中核拠点施設・かっぱ遊覧船桟橋

2.令和　5　年度事業実績（Do）

海水浴場施設維持管理事業
　海水浴場開設前工事(塩浜　中村)
　　3,155 千円
キャンプ場施設維持管理事業
　中村海水浴場
　　管理棟改築工事
　　管理棟改築工事監理業務
　　分筆業務
　　35,392 千円
モーモードーム施設維持管理事業
　排水ポンプ施設設計業務
　　3,465 千円
ローソク島遊覧船待合所
　　施設維持管理事業
　トイレ増築工事設計業務
　トイレ上下水道接続設計業務
　　2,123 千円
牛舎施設維持管理事業
　西郷地区共同牛舎
　　下水道接続工事
　農用裁断機更新
　　676 千円
かっぱ遊覧船桟橋
　　施設管理運営事業
　かっぱ遊覧船桟橋改修工事
　　10,990 千円

実績額		55,801 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	49,600 千円
	特定	千円
	一般財源	6,201 千円

実績値				
	①	111,451人/年	④	2,999百万円/年
	②	65,027泊/年	⑤	
	③	105人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

経年劣化した施設の改修及び修繕工事を実施し、安心・安全・快適な観光施設を提供することができた。また、夏季の海水浴場開設の際、島内外からの来場者が多い中村海水浴場においては、中村海水浴場管理棟（シャワー室、トイレ含む）を整備する計画が完成し、地域のニーズにもあった施設の建設に取り組んでいる。

【②.事業の課題】

町が管理する老朽化した観光施設が多く、単に改修・修繕をおこなうだけでなく、利用頻度、島内外からのニーズ等を考慮した包括的な改修計画ができていない状況である。
今後、多岐にわたる情報を整理した上での計画策定及びスムーズな改修工事が必要である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

昨年以前に策定した長寿命化計画において、「D判定」（緊急性を要する状態）の施設の設備も多くあり、観光施設の適正な維持管理のためにも計画性をもった上で、効率的に迅速な対応が必要である。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

　令和6年度より、各支所へ観光施設を移管しており、支所と連携しながら施設の現状（構造的な状況や利用状況）を基に優先順位をつけ、優先する観光施設を重点的に改修する。
　また、必要に応じて施設維持のために細かな部分の補修・修繕や施設用具の更新を行い、観光客や利用客のサービス・利便性の向上を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和 8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 塩浜海水浴場階段改修・時計設置工事 8,500 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 中村海水浴場飛び込み台改修工事 10,000 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 4,500 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 4,500 千円	海水浴場施設維持管理事業 海水浴場開設整備工事 4,500 千円
	千円	モーモードーム施設維持管理事業 排水ポンプ他敷設工事・監理業務 下水道接続工事 駐車場排水溝改修工事 漏電調査業務 フェンス改修工事他 30,000 千円	モーモードーム施設維持管理事業 施設改修工事 駐車場舗装改修工事 30,000 千円	千円	千円
	キャンプ場施設維持管理事業 中村キャンプ場（債務負担） 管理棟・トイレ・シャワー棟更新工事(令和5年度分繰越）・工事監理業務 管理棟備品購入事業 キャンプ場施設維持管理事業 立木キャンプ場 炊事棟水道設備修繕工事 92,687 千円	千円	千円	千円	千円
	公衆トイレ施設維持管理事業 国分寺公衆トイレ下水道接続工事 600 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	かっぱ遊覧船桟橋施設管理運営事業 かっぱ遊覧船桟橋改修工事 8,000 千円	千円	千円	千円
	千円	牛舎施設維持管理事業 池田共同牛舎電気設備改修工事他 3,000 千円	千円	千円	千円

事業費		101,787 千円	事業費		51,000 千円	事業費		34,500 千円	事業費		4,500 千円	事業費		4,500 千円
財源内訳	国補助	千円	財源内訳	国補助	千円	財源内訳	国補助	千円	財源内訳	国補助	千円	財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円		県補助	千円		県補助	千円		県補助	千円		県補助	千円
	起　債	92,500 千円		起　債	30,000 千円		起　債	30,000 千円		起　債	千円		起　債	千円
	特　定	千円		特　定	千円		特　定	千円		特　定	千円		特　定	千円
	一般財源	9,287 千円		一般財源	21,000 千円		一般財源	4,500 千円		一般財源	4,500 千円		一般財源	4,500 千円

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

	目標値	①	154,300人/年	④	2,010百万円/年	目標値	①	157,100人/年	④	2,050百万円/年	目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年	目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年	目標値	①	160,000人/年	④	2,090百万円/年
		②	81,700泊/年	⑤			②	83,300泊/年	⑤			②	84,000泊/年	⑤			②	84,000泊/年	⑤			②	84,000泊/年	⑤	
		③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥			③	3,300人泊/年	⑥	

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光施設管理運営事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-10

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光宿泊施設整備事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-11

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数(島根県観光動態調査)(KPI)	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額(隠岐ジオパーク推進機構調べ)(KPI)	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

町有宿泊施設の維持管理をするとともに、安心・安全・快適な宿泊施設を提供するため、老朽化した町有宿泊施設の計画的な補修・修繕を行い、観光客が「また訪れたい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

町有宿泊施設（隠岐ポートプラザ、ホテルMIYABI）は築20年以上を経過しており、施設の改修・修繕を行い、ニーズに対応した快適な宿泊環境を提供する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

隠岐ポートプラザ改修事業
　非常用発電機設備
　　エンジン修繕工事
　　588 千円
ホテル海音里改修事業
　自立看板改修工事
　給湯循環設備改修工事
　　4,104 千円
羽衣荘改修事業
　配膳室他空調・換気
　　設備改修工事
　浴槽温度制御調整工事
　給水・給湯設備改修工事
　消防設備更新工事
　給湯器取替工事
　銅板庇屋根瓦取合修繕工事
　　3,791 千円
ホテルMIYABI改修事業
　中庭中継ポンプ改修工事
　消防設備修繕工事
　　1,257 千円
ロッジおくつど改修事業
　高圧受変電設備更新工事
　高温高湿庫更新
　　17,820 千円
ログハウス改修事業
　津戸ログハウス
　　11号棟エアコン取替工事
　　251 千円

実績額		27,811 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	24,900 千円
	特定	千円
	一般財源	2,911 千円

実績値				
	①	111,451人/年	④	2,999百万円/年
	②	65,027泊/年	⑤	
	③	105人/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

施設の経年劣化により、故障した設備の修繕、改修を行った。今後、長寿命化計画で優先度の高い箇所の改修・修繕工事を実施し、安心・安全・快適な観光宿泊施設とする事ができた。今後も計画的な整備に努めていきたい。（令和6年より、ホテル海音里は五箇支所へ　羽衣荘、ロッジおくつど、ログハウスは都万支所へ事務移管）

【②.事業の課題】

宿泊施設は築後20年以上を経過しており、現在の観光客のニーズに沿った設備が整っていない施設もある。各施設ごとに長寿命化計画を策定しており、長寿命化計画化に沿った整備を進める。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

観光客に快適な宿泊環境を提供するためには必要な事業である。現在の観光客（外国人観光客も含む）のニーズに沿った整備を行い、観光客の満足度とリピート率を向上させ、交流人口の拡大を図っていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和５年度評価済

まちの重要な産業である観光産業を守るため、しっかりと取り組んでいただきたいと考えます。町が所有する宿泊施設は老朽化している施設が多いことから、計画的な整備に努めてください。

　整備するだけではなく、時には既成概念を払拭し、施設の『廃止』や『譲渡』、『島外のプレイヤーの発掘』、『外部有識者による経営指導』なども検討してはいかがでしょうか。あわせて、各施設の指定管理者に対し管理運営状況の評価を実施し、指定管理制度の効果的な運用を図る必要があると考えます。また、観光産業発展のためには、観光協会等との役割分担も検討する必要があるのではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

　令和6年度より、各支所へ宿泊施設を移管しており、支所と連携しながら長寿命化計画に沿って施設改修を行う。

　また、施設の状況や現代のニーズ、インバウンド対策を含め検討し、場合によっては大規模改修を行い、宿泊客の満足度向上と宿泊キャパシティの確保を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	観光宿泊施設整備事業	担当	商工観光課 観光振興係	整理番号	商観-11

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和 8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	隠岐ポートプラザ改修事業 ・2階改修工事設計業務 ・厨房機器更新 4,000 千円	隠岐ポートプラザ改修事業 ・2階改修工事 ・2階備品購入 ・2階改修工事監理業務 101,000 千円 ホテルMIYABI改修事業 ・本館食堂屋根改修工事 ・別館コンクリート修繕工事 ・給排水設備改修工事 45,000 千円	隠岐ポートプラザ改修事業 ・2階改修工事 ・2階備品購入 ・2階改修工事監理業務 63,000 千円 ホテルMIYABI改修事業 ・電源設備改修工事 30,000 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	4,000 千円	146,000 千円	93,000 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	1,300 千円	46,000 千円	24,000 千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	2,700 千円	97,000 千円	59,000 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	3,000 千円	10,000 千円	千円	千円
目標値 ①	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	160,000人/年	160,000人/年
目標値 ②	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年
目標値 ③	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年
目標値 ④	2,010百万円/年	2,050百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	都市再生整備事業
関連計画	都市再生整備計画（西郷地区）

予算区分	一般会計	款	8	項	6	目	1

指標		令和6年度目標値
①	都市再生整備計画事業の整備率（KPI）	35%
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

都市計画区域や区域内建築制限については、区域設定後35年が経過し、社会構造の変化や社会基盤整備に伴い本町の都市構造に変化が生じている。そのため、都市計画区域の検討、将来の都市構造を定める立地適正計画の策定、西郷港玄関口の再生計画などを進め、持続可能な秩序のあるまちづくりを行う。

【事業概要】

西郷港周辺地区を軸ににぎわいと安心を備えたまちの再整備を行う。

・西郷港周辺地区整備
・避難路、歩車共存道路整備
・住宅等修景支援
・まちづくり交流支援
・デジタルを活用したまちづくり

2.令和　5　年度事業実績（Do）

西郷港周辺地区整備設計業務
西郷港周辺まちづくり支援業務
西郷港周辺地区物件調査（その1）業務
西郷港周辺地区物件調査（その2）業務
平地区市街地水道施設設計業務
279,884千円

実績額	279,884 千円
財源内訳 国補助	120,506 千円
県補助	千円
起債	104,300 千円
特定	千円
一般財源	55,078 千円

実績値				
①	0%		④	
②			⑤	
③			⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度は都市再生整備計画を策定し、住民との対話をつづけながら各個別基本設計を行った。
令和6年度は住民との対話を進めつつ個別基本設計の継続、公民連携手法の検討、デジタルを活用したまちづくり授業等実施する予定。

【②.事業の課題】

西郷港玄関口まちづくり計画の核となるターミナルエリア整備については、計画の方針を基に具体的な整備事業の計画を策定するが、ターミナルエリア整備は誰もが必要な事業と認められるものの、エリア内に居住若しくは商業活動を行っている住民の方の合意を得ることが不可欠である。このプロジェクトの必要性を十分に説明し意見交換を行いながら合意形成を図ることが重点課題である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

住民や来訪者にとってまちの玄関口に求められる機能整備を早急に行うことが本町全体の活力を生む事にもつながる。また、玄関口のまちづくり理念である次世代につながるまちをつくることが、人口減少対策として大きな役割を担うこととなる。

【④.外部評価】　方向性：　手法・内容の見直し　**令和６年度評価済**

既に大きく進んでいる事業であり、隠岐の玄関口である西郷港の発展を望む声は多いと認識しています。しかし、現在の整備計画エリアにおける各種事業について、どのように人々が集まり、経済効果をもたらすのか、未だ町民の理解が得られていない部分も多いと感じます。官民協働による施設運営等も計画されていますが、その現実性、効果が見えません。これら整備事業をスムーズに、より具体的に進めるためにも、もっと地元企業、関係団体等との情報共有を密に、また、もっと町民の声に耳を傾ける機会を設けることが必要と考えます。まちの将来を見据えるにあたって、理想が先行するのではなく、それぞれの施設がどのように利活用されるかを明確にし、官民連携を意識した取組に努めてください。

4.改善・見直し（Action）

令和6年度は、新規事業採択を含んだ都市再生整備計画の修正、各種基本設計、デザインコード、事業用地取得を実施する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	地域創造支援事業 デザインコード策定 12,500 千円	地域創造支援事業 住宅等修景支援業務　10棟 36,500 千円	地域創造支援事業 住宅等修景支援業務　6棟 26,000 千円	千円	千円
	事業活用調査事業 各種まちづくり計画改訂調査 12,000 千円	千円	まちづくり活動推進事業 事業効果分析業務 10,000 千円	まちづくり活動推進事業 事業効果分析業務 15,000 千円	千円
	まちづくり活動推進事業 社会実験、交通計画策定 ワークショップ、情報発信 デザイン会議開催運営 41,900 千円	まちづくり活動推進事業 社会実験 ワークショップ、情報発信 デザイン会議開催運営 54,000 千円	まちづくり活動推進事業 まちづくり組織設立準備 情報発信 デザイン会議開催運営 40,000 千円	まちづくり活動推進事業 まちづくり組織設立準備 情報発信 デザイン会議開催運営 35,000 千円	千円
	千円	基幹事業（地域生活基盤施設） 西町防災広場　詳細設計業務 3,000 千円	基幹事業（地域生活基盤施設） 西町防災広場　整備工事 27,000 千円	千円	千円
	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　基本設計業務 台地アクセス遊歩道　測量業務 歩車共存道路　測量業務 既存建物解体工事　2棟 用地取得　4件・建物補償　4件 202,572 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　実施設計業務 台地アクセス遊歩道　整備工事 歩車共存道路　整備工事 中町交通広場　整備工事 用地取得　2件・建物補償　3件 198,785 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　整備工事 台地アクセス遊歩道　整備工事 歩車共存道路　整備工事 369,000 千円	基幹事業（高質空間形成施設） うみまち通り　整備工事 台地アクセス遊歩道　整備工事 歩車共存道路　整備工事 480,000 千円	千円
	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　基本設計業務 新築集合型(小)　基本設計業務 用地取得、建物補償　1件 113,700 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　実施設計業務 新築集合型(小)　実施設計業務 用地取得　4件・建物補償　2件 256,905 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　建築工事 新築集合型(小)　建築工事 574,500 千円	基幹事業（高次都市施設） 集会所・マルシェ　建築工事 新築集合型(小)　建築工事 574,500 千円	千円
	民間活力導入可能性調査 PPP/PFI導入検討 5,600 千円	民間活力導入可能性調査 PPP/PFI導入検討 5,600 千円	千円	千円	千円
	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	デジタル田園都市国家構想事業 小中学校まちづくり授業支援業務 2,500 千円	千円
	千円	離島活性化交付金事業 西郷港周辺地区仮想空間導入業務 6,000 千円	千円	千円	千円
	先導的官民連携支援事業 官民連携授業手法調査・検討 20,000 千円	先導的官民連携支援事業 官民連携授業手法調査・検討 15,000 千円	先導的官民連携支援事業 官民連携授業手法調査・検討 15,000 千円	先導的官民連携支援事業 官民連携授業手法調査・検討 15,000 千円	千円

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

平新市街地水道整備工事費 10,000 千円	千円	千円	千円	千円
都市空間情報デジタル基盤構築支援事業（PLATEAU） 都市空間3Dモデル活用調査業務 10,000 千円	都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 20,000 千円	都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 20,000 千円	千円	千円
千円	景観計画策定支援事業 4,200 千円	千円	千円	千円

（都市構造再編集中支援事業）
令和10年度以降の都市再生整備計画（西郷地区2期）は事業採択を受けておらず、概算額の算定のみ行っている。整備内容も未確定のものが多く、現時点で令和10年度算定は困難な状況。下記に事業概算額を提示する。
総額事業費：5,142百万円（R10-R14）
　内訳：地域生活基盤施設（広場等）903百万円
　　高質空間形成施設（うみまち通り2期、臨港道路等）991百万円
　　高次都市施設（混合複合型施設等）1,375百万円
　　既存建造物活用事業（フェリーターミナル改修）1,653百万円
　　まちづくり活動推進事業（気運醸成・デザイン会議運営等）220百万円
　国費相当額：2,227百万円
　起債相当額：2,227百万円
　一般財源相当額：607百万円
※令和8年度において都市再生整備計画（西郷地区2期）を作成し、国・県との協議に入る予定

事務費 10,000 千円	事務費 11,000 千円	事務費 40,000 千円	事務費 21,000 千円	千円

事業費	440,772 千円	事業費	613,490 千円	事業費	1,124,000 千円	事業費	1,143,000 千円	事業費	千円
財源内訳	国補助	175,420 千円	財源内訳	国補助	207,558 千円	財内訳源	国補助	447,132 千円	財源内訳	国補助	304,968 千円	財源内訳	国補助	千円
	県補助	31,752 千円		県補助	54,254 千円		県補助	16,509 千円		県補助	139,700 千円		県補助	千円
	起債	155,600 千円		起債	198,200 千円		起債	495,000 千円		起債	333,800 千円		起債	千円
	特定	千円		特定	千円		特定	千円		特定	千円		特定	千円
	一般財源	78,000 千円		一般財源	153,478 千円		一般財源	165,359 千円		一般財源	364,532 千円		一般財源	千円

目標値	①	35%	④		目標値	①	45%	④		目標値	①	60%	④		目標値	①	100%	④		目標値	①		④	
	②		⑤			②		⑤			②		⑤			②		⑤			②		⑤	
	③		⑥			③		⑥			③		⑥			③		⑥			③		⑥	

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都市再生整備事業	担当	都市計画課 都市整備係	整理番号	都計-1

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地区観光施設管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

五箇地区観光施設の維持管理、及び時代のニーズに合った観光施設・観光宿泊施設となるよう修繕などを行い、観光客が「また来たい」と思われる観光地づくりを進めます。

【事業概要】

観光施設の維持管理や補修、修繕を行う。

【施設改修事業】

隠岐しゃくなげ園公衆トイレ改修事業

【維持管理運営事業】

尾白鼻園地、尾白ローソク島展望台、吉浦野営場、福浦海水浴場、水若酢神社公衆トイレ、久見ローソク島展望台遊歩道トイレ、ホテル海音里、五箇テニスコート、深浦ログハウス、ローソク島遊覧船待合所、五箇和牛共同牛舎

2.令和　5　年度事業実績（Do）

実績なし

実績額	千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	千円

実績値				
	①	95,931人/年	④	
	②		⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業において、施設の維持管理が適正になされている。

【②.事業の課題】

既存施設の老朽化が著しいため、関係機関と連携して計画的な改修・修繕が必要となっている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

適正な施設維持管理のためには、必要な事業であり各施設の計画的な改修・修繕を実施することにより利用者のニーズにマッチした、安全で安心して利用できる施設となるよう整備を行う必要がある。

地域振興事業における「花の里づくり」の活動展開により「花園」の観光資源としての利活用を視野に入れ公衆トイレ等の施設改修も併せて検討していく。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

観光施設について、その必要性を検証するとともに、利用客が求める、時代のニーズにマッチした施設への更新が実施できるよう、関係機関や団体との協議検討をすすめ、計画的な施設改修整備を目指す。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	五箇地区観光施設管理運営事業	担当	五箇支所 地域振興係	整理番号	五-4

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	ホテル海音里大規模改修基本設計 3,000 千円	ホテル海音里大規模改修実施設計 10,000 千円	ホテル海音里大規模改修工事 100,000 千円	ホテル海音里設備改修・備品購入 7,000 千円	千円
	深浦ログハウス浄化槽整備工事 1,287 千円	深浦ログハウス改修工事 1,282 千円	千円	千円	千円
	千円	福浦海水浴場整備（流木撤去）事業 1,526 千円	福浦海水浴場整備（砂埋戻し）事業 1,500 千円	千円	福浦海水浴場整備（砂埋戻し）事業 1,500 千円
	ローソク島遊覧船待合所 トイレ増設工事 下水道接続・電気配線・外構工事 トイレ増築工事監理業務 48,632 千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	隠岐しゃくなげ園公衆トイレ改修工事 （改修及び下水道接続工事） 5,000 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	52,919 千円	12,808 千円	106,500 千円	7,000 千円	1,500 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	51,400 千円	11,200 千円	100,000 千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	1,519 千円	1,608 千円	6,500 千円	7,000 千円	1,500 千円
目標値 ①	148,119人/年	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	
目標値 ②	73,405泊/年	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	
目標値 ③	2,475人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	
目標値 ④	1,760百万円/年	2,010百万円/年	2,050百万円/年	2,090百万円/年	
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区観光施設管理運営事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-2

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	地域振興事業補助金
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画

予算区分	一般会計	款	7	項	2	目	3

指標			令和6年度目標値
	①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300人/年
	②	隠岐の島町延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700泊/年
	③	隠岐の島町外国人延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300人泊/年
	④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
	⑤		
	⑥		

【事業目的】

都万地区観光施設の維持管理、及び時代のニーズに合った観光施設となるよう修繕などを行い、観光客が「また来たい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

観光施設の維持管理や補修、修繕を行う。

【施設名】

・亀の原水鳥公園・塩の浜海岸・那久岬園地・油井の池園地
・津戸園地・探勝歩道・ダイビングハウス彩・産直問屋しおさい
・闘牛公園・都万地区共同牛舎・海洋スポーツセンター
・レストランうみさち・油井の池公衆トイレ・壇鏡の滝公衆トイレ
・蛸木緑地広場公衆トイレ・那久漁港環境施設公衆トイレ
・那久岬公衆トイレ・屋那公衆トイレ・遊漁センター駐車場公衆トイレ

2.令和　5　年度事業実績（Do）

産直問屋しおさいエアコン改修工事
マルチエアコン4機
（体験室・交流スペース）
ルームエアコン2機
（事務室・スタッフルーム）
5,115千円

実績額		5,115 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	5,100 千円
	特定	千円
	一般財源	15 千円

実績値				
	①	148,119人/年	④	1,760百万円/年
	②	73,405泊/年	⑤	
	③	2,475人泊/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

本事業により、観光施設が清潔に保たれ、そこで行われるイベントでは、年々多くの来場客がある。亀の原水鳥公園で行われる『つつじ祭り』では、来場客が年々増加傾向にあり、令和元年度には300名もの来場客があった。また、隠岐の島町で唯一ダイビングが利用できる施設では、令和元年度に225名の利用者がいた。

【②.事業の課題】

都万地区観光施設のほとんどが、昭和や平成初期に整備されたもので、老朽化してきている。
維持管理（草刈り・トイレ清掃など）のほとんどを地区の方が行っているが、高齢化も進み受託が困難な地区も出てきている。また、島内唯一のダイビング施設があるが後継者がおらず、貴重な観光アクティビティが失われてしまう。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

都万地区観光施設の適正な維持管理として必要な事業であるが、各施設の利用頻度などを調査し、観光客が必要としている施設を整備、修繕をしていく必要がある。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

老朽化している施設のうち、観光客が必要としている施設を優先的に修繕していく。
合併後埋もれていた観光施設の活用を再検討し、必要なものは修繕、整備していく。
施設管理については、各施設の実情に合わせ、管理費など見直しを行う。

島内唯一のダイビング施設「隠岐の国ダイビング」のインストラクター後継者の育成、海洋スポーツセンターのツアーガイドスタッフとして地域おこし協力隊制度を活用をして、施設の有効活用を行う

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区観光施設管理運営事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-2

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	地域おこし協力隊事業(2名) 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 観光ガイド人材の育成 ・観光アクティビティ、学習活動、現地ガイドの実施 9,600 千円	地域おこし協力隊事業(2名) 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 観光ガイド人材の育成 ・観光アクティビティ、学習活動、現地ガイドの実施 9,600 千円	地域おこし協力隊事業(2名) 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 観光ガイド人材の育成 ・観光アクティビティ、学習活動、現地ガイドの実施 9,600 千円	地域おこし協力隊事業(1名) 観光ダイビング及び漁業の業務継承 ・ダイビング職場での勉強・訓練 ・漁業の実地体験 ・ダイビング関連資格の取得 4,800 千円	千円
	レストラン凪電灯盤容量増設工事 1,178 千円	佐山駐車場砕石整備工事 850 千円	バースハウス改修 2,000 千円	塩の浜キャンプ場トイレ洋式化（7基） 3,000 千円	旧キャンプ場再編整備 20,000 千円
	海洋スポーツセンター整備事業 820 千円	亀の原水鳥公園遊具設置工事 2,100 千円	バースハウス大型ボイラー改修 1,000 千円	塩の浜キャンプ場炊事場増設 1,000 千円	千円
	都万海岸宿舎撤去工事 213 千円	塩の浜キャンプ場あずま屋ウッドデッキ改修（3棟） 3,000 千円	海洋スポーツセンター整備事業 820 千円	千円	千円
	千円	レストラン凪ブラインド取付 500 千円	塩の浜キャンプ場周辺整備 1,000 千円	千円	千円
	千円	レストラン凪トリプルサッシ施工 1,500 千円	ハーバー凪周辺整備 1,000 千円	千円	千円
	千円	レストラン凪和室畳表替え 400 千円	千円	千円	千円
	千円	海洋スポーツセンター整備事業 820 千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	11,811 千円	18,770 千円	15,420 千円	8,800 千円	20,000 千円
財源内訳 国補助	9,600 千円	11,100 千円	11,100 千円	6,800 千円	10,000 千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	2,800 千円	1,500 千円	2,000 千円	10,000 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	2,211 千円	4,870 千円	2,820 千円	千円	千円
目標値 ①	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	160,000人/年	160,000人/年
目標値 ②	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年
目標値 ③	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年
目標値 ④	2,010百万円/年	2,050百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区観光宿泊施設整備事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-3

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	地域振興事業補助金
関連計画	第2次隠岐の島町観光振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300人/年
②	隠岐の島町延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

町有宿泊施設の維持管理をするとともに、安心・安全・快適な宿泊施設を提供するため、老朽化した町有宿泊施設の計画的な補修・修繕を行い、観光客が「また訪れたい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

町有宿泊施設（あいらんどパークホテル、羽衣荘、ログハウス）は築20年以上を経過しており、施設の改修・修繕を行い、ニーズに対応した快適な宿泊環境を提供する。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

実績額		20,310 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	20,300 千円
	特定	千円
	一般財源	10 千円

実績値				
	①	148,119人/年	④	1,760百万円/年
	②	73,405泊/年	⑤	
	③	2,475人泊/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

観光宿泊施設は、施設の経年劣化により改修及び修繕工事を事後対応で進めていたが、各施設の長寿命化計画を策定し、今後計画的に改修を行う準備をした。令和4年度にはロッジおくつどの長寿命化計画を作成した。また、その他施設については長寿命化計画で優先度の高い箇所の改修・修繕工事を実施し、安心・安全・快適な観光宿泊施設とする事ができた。今後も計画的な整備に努めていきたい。

【②.事業の課題】

ほとんどの施設が築後20年以上を経過しており、現在の観光客のニーズに沿った設備が整っていない施設もあり、計画的に整備を進める必要がある。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

観光客に快適な宿泊環境を提供するためには必要な事業である。現在の観光客（外国人観光客も含む）のニーズに沿った整備を行い、観光客の満足度とリピート率を向上させ、交流人口の拡大を図っていく。

【④.外部評価】　方向性：　**令和５年度評価済**

まちの重要な産業である観光産業を守るため、しっかりと取り組んでいただきたいと考えます。町が所有する宿泊施設は老朽化している施設が多いことから、計画的な整備に努めてください。

整備するだけではなく、時には既成概念を払拭し、施設の『廃止』や『譲渡』、『島外のプレイヤーの発掘』、『外部有識者による経営指導』なども検討してはいかがでしょうか。あわせて、各施設の指定管理者に対し管理運営状況の評価を実施し、指定管理制度の効果的な運用を図る必要があると考えます。また、観光産業発展のためには、観光協会等との役割分担も検討する必要があるのではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

「公共施設等総合管理計画」における「個別施設計画」を策定し、効果的、効率的に活用運営していく。

令和4年度は、1施設の長寿命化計画を策定した。長寿命化計画を基に施設の改修計画を見直し、計画的な改修を行う。

また、施設の状況や現代のニーズ、インバウンド対策を含め検討し、場合によっては大規模改修を行い、宿泊客の満足度向上と宿泊キャパシティの確保を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	都万地区観光宿泊施設整備事業	担当	都万支所 地域振興係	整理番号	都万-3

5.年度別計画

	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	千円 ロッジおくつど消防設備改修 エアコン更新 4,852 千円 ログハウスエアコン更新 600 千円 千円 千円 千円	羽衣荘改修事業 ・大規模改修設計 8,000 千円 ロッジおくつどロビー、厨房照明改修 エアコン更新 1,600 千円 ログハウス改修設計(2棟) エアコン更新 3,600 千円 千円 千円 千円	羽衣荘改修事業 ・大規模改修工事（屋根・外壁・配管他） ＋休業補償（30,000千円） 130,000 千円 ロッジおくつどエアコン更新 600 千円 ログハウス内装改修(2棟)、屋根葺き替え(2棟)、外壁塗装(2棟)、水回り改修(2棟) コテージ改修設計(2棟) ログハウスエアコン更新 33,600 千円 千円 千円 千円	羽衣荘改修事業 ・設備改修工事、備品購入 70,000 千円 ロッジおくつど改修事業 ・設備改修設計 エアコン更新 5,600 千円 コテージ内装改修(2棟)、屋根葺き替え(2棟)、外壁塗装(2棟)、水回り改修(2棟) ログハウスエアコン更新 30,600 千円 千円 千円 千円	千円 ロッジおくつど給排水、空調改修工事 エアコン更新 30,600 千円 ログハウスエアコン更新 600 千円 千円 千円 千円
事業費	5,452 千円	13,200 千円	164,200 千円	106,200 千円	31,200 千円
財源内訳 国補助	千円	1,500 千円	16,500 千円	15,000 千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	5,400 千円	11,700 千円	117,700 千円	91,200 千円	31,200 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	52 千円	千円	30,000 千円	千円	千円
目標値 ①	154,300人/年	157,100人/年	160,000人/年	160,000人/年	160,000人/年
目標値 ②	81,700泊/年	83,300泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年	84,000泊/年
目標値 ③	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年	3,300人泊/年
目標値 ④	2,010百万円/年	2,050百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年	2,090百万円/年
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地区観光施設管理運営事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-4

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	4.ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 7　項 2　目 3

指標		令和6年度目標値
①	隠岐推定入島客数（隠岐観光協会調べ）（KPI）	154,300 人/年
②	隠岐の島町延宿泊者数（島根県観光動態調査）（KPI）	81,700 泊/年
③	隠岐の島町外国人延宿泊者数（島根県観光動態調査）（KPI）	3,300人泊/年
④	隠岐観光消費額（隠岐観光協会調べ）（KPI）	2,010百万円/年
⑤		
⑥		

【事業目的】

観光施設の維持管理を徹底し、利用者の満足度向上に繋げ「また訪れたい」と思われる観光地づくりを進める。

【事業概要】

来場者に安心・安全・快適な空間を提供するため、観光関連施設の自然公園内の遊歩道の管理、施設･設備の計画的な修繕を行う。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

浄土ケ浦休憩所
・修繕工事
583千円
・トイレ熱線センサ取替
23千円
レストハウス「ポーレスト」
・シャワー設備取替修繕
380千円

実績額		986 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	千円
	一般財源	986 千円

実績値				
	①	123,750 人/年	④	1,385百万円/年
	②	63,498 泊/年	⑤	
	③	432泊/年	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

浄土ケ浦休憩所の床張替修繕工事及びトイレ照明用熱線センサ付自動スイッチの取替を行ったことで、利用者に安全・快適な空間を提供している。利用者の満足度とリピート率が向上し、利用者の増加につながっている。

【②.事業の課題】

観光施設は、経年劣化等による老朽化で、補修や修繕工事が必要不可欠となっている。環境の変化や利用者の多様化により、現在の観光施設形態の実情と実態に沿ってるとは言えないのが現状である。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

観光施設を安心･安全･快適な空間を提供するためには、日頃の補修や計画的な整備が必要である。利用者の満足度向上へつながる付加価値を提供するため現在のニーズにあった観光施設の再整備や改良を行う。また、「隠岐の島町アウトドアツーリズム基本構想」に基づき、関係機関と連携を図り整備を行う事で、観光客や利用客の満足度向上と交流人口の拡大につなげる。

【④.外部評価】　　方向性：

4.改善・見直し（Action）

利用者に対し、安心･安全･快適な空間の提供と、現代のニーズに則した施設となるよう引き続き関係機関との協議を密にし、町全体の観光戦略に沿った管内観光施設の管理運営、及び計画的な整備を行うことにより、サービスと利便性の向上を図る。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	布施地区観光施設管理運営事業	担当	布施支所 地域振興係	整理番号	布-4

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)			浄土ヶ浦遊歩道　調査・設計業務		
	千円	千円	9,929 千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	9,929 千円	千円	千円
財源内訳 国補助	千円	千円	4,964 千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	千円	千円	4,965 千円	千円	千円
目標値 ①					
目標値 ②					
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画
予算区分	一般会計　款 7　項 1　目 2

指標		令和6年度目標値
①	島内開業事業者数(KPI)	60件
②	島内における廃業件数(KPI)	7件
③	雇用対策協議会会員数(KPI)	70事業所
④	出産後職場復帰奨励金活用事業所件数(KPI)	25件/年
⑤	島内小売業の販売額(KPI)	13,304百万円/年
⑥		

【事業目的】

本町の商工業は人口減少や経済、社会情勢等の変化に伴い、商店の閉店に伴うにぎわいの喪失や利便性の低下、後継者や人材不足等の様々な課題を抱えている。この課題を解決するため、隠岐の島町商工会と連携を図り、課題解決に向けた各種補助金の創設など、町内の中小企業、小規模事業者への支援を行う。

【事業概要】

本町の商工業の活性化及び地域商業機能の維持を図るため、隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画で定めている基本方針、重点課題と対策に基づいた事業に、隠岐の島町商工会を中心に関係機関と連携して取り組みを進める。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

○隠岐の島町商工会補助金
運営費補助金　8,135千円
○雇用機会拡充事業補助金
2件　12,665千円
○地域商業等支援事業費補助金
1件　1,000千円
○移動販売継続支援事業費補助金
1件　4,388千円
○創業等信用保証料補助金
281千円
○島根県中小企業制度融資
（預託金）　10,000千円

実績額		36,469 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	11,053 千円
	起債	千円
	特定	10,000 千円
	一般財源	15,416 千円

実績値				
	①	60件	④	5件/年
	②	28件	⑤	10,719百万円/年
	③	59事業所	⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

令和5年度においても、起業・創業、事業拡大等に取り組む事業者に対して、関連する国、県の施策を活用し支援を行った。また、「隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画」の第2期計画の策定作業にも取り組み、令和6年度からの5年間で取り組む重点課題とその対策を定めた。その他、物価高騰対策と消費喚起策としてのプレミアム付き商品券事業を実施している。

【②.事業の課題】

後継者不在による事業承継の問題や人材不足の状況は深刻化しており、事業所の廃業の主な要因となっている。また、町内の消費傾向はコロナ禍後に変化しており、地域の小売店、飲食店等の事業継続にも影響を及ぼしている。長引くエネルギー価格・原材料費の高騰による商工業者、地域経済への影響も懸念される。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

町内の商工事業所は、これまで本町の経済を根底から支え、その発展に寄与するとともに、雇用やにぎわいを創出し、町民生活の安定及び向上に重要な役割を果たしてきた。「将来にわたり住み続けたい」と実感できるまちづくりを進めていくためには、地域商工事業者の成長と持続的な発展が不可欠であり、町、事業者、地域経済団体及び町民が連携・協働し、中小企業・小規模企業の振興に向けた取り組みを進めていく

【④.外部評価】　方向性：　拡大　　令和３年度評価済

事業承継の問題、人材不足、更に新型コロナウィルス感染症の影響により事業継続が危ぶまれる中で、島内事業者にとって重要な施策です。地域商工業の維持、そして活性化が図られるように、事業者の状況等を把握の上、関係機関と連携して現状に即した支援に取り組んで頂きたいです。特に、新型コロナウィルス感染症の影響を受けた事業者への支援に取り組みつつ、アフターコロナを見据えた中長期的な事業者の支援策を講じることが重要ではないでしょうか。

4.改善・見直し（Action）

後期計画においては、第2期中小企業・小規模企業振興計画の重点課題の中で、下記の項目の対策について重点的に取り組むこととする。

○地域内経済循環促進、消費者ニーズへの対応
地域内経済循環の促進としては、消費者の地元購買意欲の向上・利便性の高い事業展開の推進に取り組むほか、地域限定デジタルクーポンの導入について検討を進める。
消費者ニーズへの対応としては、キャッシュレス決済の普及による決済方法の充実化を図る。また、高齢者等の買い物困難者対策についても、福祉部局と連携して取り組みを進める。
○町外人材確保の促進、後継者の確保及び育成の促進
町外からの人材確保の促進については、産業人材育成事業において具体的な政策に取り組む。
後継者の確保及び育成にかかる事業承継対策については、島根県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、第3者承継も含めた支援体制の強化に取り組む。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

5.年度別計画	令和　6　年度　（現年度）	令和　7　年度　（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,191 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　3件　28,469千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 32,969 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 4件 2,000　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 創業者向け融資保証料補助金　5件 400 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 プレミアム付き商品券事業 ※令和5年度からの繰越 59,600 千円 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 新）キャッシュレス決済普及促進事業 決済手数料補助(上限3千円×12月) 36千円×200件＝7,200千円 スマートレジ導入補助 （上限50千円） 50千円×100件＝5,000千円 12,200 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 キャッシュレス決済普及促進事業 決済手数料補助(上限3千円×12月) 36千円×200件＝7,200千円 スマートレジ導入補助 （上限50千円） 50千円×100件＝5,000千円 12,200 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 キャッシュレス決済普及促進事業 決済手数料補助(上限3千円×12月) 36千円×200件＝7,200千円 スマートレジ導入補助 （上限50千円） 50千円×100件＝5,000千円 12,200 千円	隠岐の島町商工会補助金 運営費補助金 8,588 千円 雇用機会拡充事業補助金 事業拡大　1件　12,000千円 創業　1件　4,500千円 ※助成額は事業者決定後に算出 千円 地域商業等支援事業費補助金 小売店等開業支援事業　1,500千円 買い物不便対策事業　1,000千円 2,500 千円 店舗等魅力化向上支援事業費補助金 5件 2,500　千円 移動販売継続支援事業費補助金 車検・整備費　300千円 燃料費　600千円 運営支援費　3,600千円 ※内容変更の可能性あり 4,500 千円 島根県中小企業制度融資（預託金） 10,000 千円 千円 商工業振興センター管理費 4,695 千円 千円 千円

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

	事業費		124,855 千円		事業費		44,983 千円		事業費		44,983 千円		事業費		44,983 千円		事業費		32,783 千円				
	財源内訳	国補助	57,752 千円		財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円		財源内訳	国補助	千円				
		県補助	28,924 千円			県補助	1,250 千円			県補助	1,250 千円			県補助	1,250 千円			県補助	1,250 千円				
		起債	千円			起債	千円			起債	千円			起債	千円			起債	千円				
		特定	18,746 千円			特定	13,251 千円			特定	13,251 千円			特定	13,251 千円			特定	13,251 千円				
		一般財源	19,433 千円			一般財源	30,482 千円			一般財源	30,482 千円			一般財源	30,482 千円			一般財源	18,282 千円				
	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年	目標値	①	60件	④	25件/年
		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年		②	7件	⑤	13,304百万円/年
		③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥			③	70事業所	⑥	

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	商工業振興事業	担当	商工観光課 商工労働係	整理番号	商観-4（重複）

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-19

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	
予算区分	一般会計　款 10　項 5　目 3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと給食の実施（KPI）	2回/月
②	学校給食における地産地消率（KPI）	20%（米以外）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

安定した学校給食の提供を行うため、衛生面を最大限に考慮した施設の管理運営を目指します。

また、子どもたちに安心安全な給食を提供するため、施設環境整備及食の安全確保に努める。

【事業概要】

厨房機器等の計画的な更新を行うとともに、その他の設備等については現況を確認し、適宜更新していく。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

厨房機器更新

食器消毒保管庫1台（更新）
2,035千円

蓄冷剤凍結庫1台
898千円

実績額	2,933 千円
財源内訳 国補助	千円
財源内訳 県補助	千円
財源内訳 起債	2,900 千円
財源内訳 特定	千円
財源内訳 一般財源	33 千円

実績値				
	①	1回/月	④	
	②	19.40%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

厨房機器を適宜更新することで、故障のリスクが減るだけではなく、調理作業の効率が向上している。また、異物混入のリスクも減ることで、より安心安全な給食の提供ができている。

【②.事業の課題】

現在の施設になってから既に20年以上が経過し、施設及び厨房機器等の修繕が増加傾向にある。

適宜更新を行ってはいるが、センター開設当初からの機器が多く残っており、故障のリスクが高くなってきている。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

厨房機器等の状況を確認しながら適切な更新を行うとともに、調理現場の関係者と充分に検討を重ねながら厨房機器等の選定を行う。

機器更新までの間は、メンテナンスに重点を置き、点検作業等を十分に行う。

【④.外部評価】　方向性：

4.改善・見直し（Action）

毎年度予防保全の実施に取り組み、突発的な故障の発生を抑制する。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-19

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	設備等修繕 千円 トイレ洋式化工事 2,728 千円 千円 厨房機器機器更新 千円 冷凍庫2台 2,290 千円 プレハブ冷蔵庫用ユニット 1,198 千円 保温食缶（汁缶） 1,187 千円 給食用箸 400 千円 配膳用トレイ 1,845 千円 千円 千円 千円	設備等修繕 千円 搬入口床補修工事 2,024 千円 千円 厨房機器機器更新 千円 蒸気回転釜（1台） 4,675 千円 食器消毒保管庫（1台） 2,101 千円 米小型充填機 834 千円 給食配送車 6,000 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 厨房機器機器更新 千円 蒸気回転釜（1台） 4,675 千円 食器消毒保管庫（1台） 2,101 千円 電解水生成装置 1,406 千円 縦型冷凍庫 1,711 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 厨房機器機器更新 千円 食器消毒保管庫（1台） 2,101 千円 汁物用椀 1,430 千円 給食配送車 6,000 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 厨房機器機器更新 千円 食器消毒保管庫（1台） 2,101 千円 おかず、果物用皿 1,759 千円 ご飯用皿 1,430 千円 保温食缶（汁缶） 1,187 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	9,648 千円	15,634 千円	9,893 千円	9,531 千円	6,477 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	9,600 千円	15,600 千円	9,800 千円	9,500 千円	6,400 千円
財源内訳 特定	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 一般財源	48 千円	34 千円	93 千円	31 千円	77 千円
目標値 ①	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
目標値 ②	20%	20%	20%	20%	20%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食調理事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-20

1.総合振興計画基本情報（Plan）

基本目標	活力を生み出すまち
基本施策	2.将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
重点施策	
関連計画	

予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	3

指標		令和6年度目標値
①	ふるさと給食の実施（KPI）	2回/月
②	学校給食における地産地消率（KPI）	20%（米以外）
③		
④		
⑤		
⑥		

【事業目的】

成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供する。

子どもたちの健康増進と体力の向上を図るとともに、健全な心身をを育むために美味しく魅力のある給食を提供する。

【事業概要】

地元食材の活用を積極的に推進するとともに給食の質を低下させることなく、給食の安定供給を継続する。

子育て世帯の支援強化の一環として、給食費に係る公費負担を継続し、保護者負担の軽減を図る。

2.令和　5　年度事業実績（Do）

食材費購入実績

主食	7,502千円
副食	60,063千円
牛乳	14,326千円
計	81,891千円

給食提供数

小学校	141,549食
中学校	67,698食
養護学校他	8,073食
計	217,320食

牛乳提供数

小学校	141,992個
中学校	68,705個
養護学校他	5,301個
計	215,998個

1日当たり給食提供数

小学校（7校）	726食
中学校（4校）	352食
養護学校（1校）	27食
その他	17食
計	1,122食

実績額		81,891 千円
財源内訳	国補助	千円
	県補助	千円
	起債	千円
	特定	64,186 千円
	一般財源	17,705 千円

実績値				
	①	1回/月	④	
	②	19.40%	⑤	
	③		⑥	

3.事業評価（Check）

【①.事業の成果・進捗状況】

町の公費投入により、食材費全般の価格が高騰する中にあっても、工夫をを凝らした給食献立によって給食の質を落とすことなく、例年通りの給食が提供出来ている。また、給食費の保護者負担を軽減し、子育て支援策の一端を担っている。

【②.事業の課題】

今後も食材費全般の価格高騰が見込まれる中、給食の質を維持するために工夫を凝らしたメニュー作りが必要となる。また、地場産物を活用するために安定した食材の供給先を確保していくことが課題となる。

【③.事業の必要性・今後の方向性】

子育て支援に資するため、給食費の公費負担を継続していく。

地産地消率目標値達成に向け、野菜、魚介類等の地元食材を積極的に活用することができるよう、各関係機関との連携を密にし、安定した食材の確保に努めていく。

【④.外部評価】　方向性：　現状維持　　令和６年度評価済

物価高騰の中、給食費の一部公費負担は、保護者の経済的負担の軽減に繋がっており、本町の子育て支援策の一旦を担っています。引き続きの支援が必要です。

また、給食に地元食材を積極的に活用するため、地元食材を活用した商品開発等を行う食材提供者等への支援も必要ではないでしょうか。本町の基幹産業である農業・漁業の活性化にも期待できます。

子どもたちへの、質の高い給食提供及びふるさとの食文化への理解浸透のため、更なる取組を求めます。

4.改善・見直し（Action）

新規の食材提供者（生産者・事業者）の獲得に向け、各関係機関と連携を密にし、情報を得ていく。

安定した食材確保のため、給食提供に必要となる食材量を提示するとともに、通年で供給可能な体制の確立に向け協力していく。

令和　6　年度隠岐の島町総合振興計画事業実施計画／事業評価

事業名	学校給食調理事業	担当	総務学校教育課 給食センター	整理番号	総学-20

5.年度別計画

	令和　6　年度（現年度）	令和　7　年度（翌年度）	令和　8　年度（翌々年度）	令和　9　年度	令和 10　年度
事業内容 (Plan)	賄材料費 81,925 千円 年間232千食提供 千円 1食約333円～375円 千円 小学生73円公費負担 千円 中学生75円公費負担 千円 地産地消率（地元野菜）22% 千円 年間21,000kg中4,620kg使用 千円 千円 千円 千円 千円 千円	賄材料費 81,350 千円 千円 千円 千円 千円 千円 地産地消率（地元野菜）22% 千円 年間21,000kg中4,620kg使用 千円 千円 千円 千円 千円 千円	賄材料費 82,361 千円 千円 千円 千円 千円 千円 地産地消率（地元野菜）22% 千円 年間21,000kg中4,620kg使用 千円 千円 千円 千円 千円 千円	賄材料費 83,384 千円 千円 千円 千円 千円 千円 地産地消率（地元野菜）22% 千円 年間21,000kg中4,620kg使用 千円 千円 千円 千円 千円 千円	賄材料費 84,420 千円 千円 千円 千円 千円 千円 地産地消率（地元野菜）22% 千円 年間21,000kg中4,620kg使用 千円 千円 千円 千円 千円 千円
事業費	81,925 千円	81,350 千円	82,361 千円	83,384 千円	84,420 千円
財源内訳 国補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 県補助	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 起債	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 特定	68,757 千円	68,757 千円	68,757 千円	68,757 千円	68,757 千円
財源内訳 一般財源	13,168 千円	12,593 千円	13,604 千円	14,627 千円	15,663 千円
目標値 ①	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
目標値 ②	20%	20%	20%	20%	20%
目標値 ③					
目標値 ④					
目標値 ⑤					
目標値 ⑥					